

用語の解説

1 用語の解説

- 死産 : 妊娠満 12 週 (妊娠第 4 月) 以後の死児の出産をいう。
- 自然死産及び人工死産 : 人工死産とは胎児の母体内生存が確実なときに人工的処置 (胎児、又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用) を加えることにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産という。なお、人工的処置を加えた場合でも次のものは自然死産という。
- ・胎児を出生させることを目的とした場合
 - ・母体内の胎児が生死不明か又は死亡している場合
- 周産期死亡 : 妊娠満 22 週以後の死産に、早期新生児死亡をあわせたものをいう。
- 後期死産 : 妊娠満 22 週以後の死産をいう。
- 早期新生児死亡 : 生後 1 週 (7 日) 未満の死亡をいう。
- 妊産婦死亡 : 妊娠中又は妊娠終了後満 42 日未満の女性の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠若しくはその管理に関連した、又はそれらによって悪化した全ての原因によるものをいう。ただし、不慮又は偶発の原因によるものを除く。
- 乳児死亡 : 生後 1 年未満の死亡をいう。
- 新生児死亡 : 生後 4 週 (28 日) 未満の死亡をいう。
- 低出生体重児 : 出生体重 2500 g 未満の出生児をいう。
- 極低出生体重児 : 出生体重 1500 g 未満の出生児をいう。
- 超低出生体重児 : 出生体重 1000g 未満の出生時をいう。
- 人工妊娠中絶 : 胎児が、母体外において生命を保続することのできない時期 (通常妊娠満 22 週未満) に、人工的に胎児及びその付属物を母体外に排出することをいう。
- 合計特殊出生率 : 15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の平均子ども数に相当する。
- 人工置換え水準 : 合計特殊出生率がこの水準以下になると人口が減少することになるという水準で、わが国では 2.08 前後の数値が該当する。(平成 21 年値 : 2.07)

2 比率の解説

- (1) 出生率 = $\frac{\text{年間出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$
- (2) 乳児死亡率 = $\frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (3) 新生児死亡率 = $\frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (4) 死産率・自然死産率
・人工死産率 = $\frac{\text{年間死産数(総数・自然・人工)}}{\text{年間出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$
- (5) 周産期死亡率 = $\frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$
- (6) 早期新生児死亡率 = $\frac{\text{年間早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (7) 妊産婦死亡率 = $\frac{\text{年間妊産婦死亡数}}{\text{年間出産(又は出生)数}} \times 100,000$
- (8) 合計特殊出生率 = $\left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計

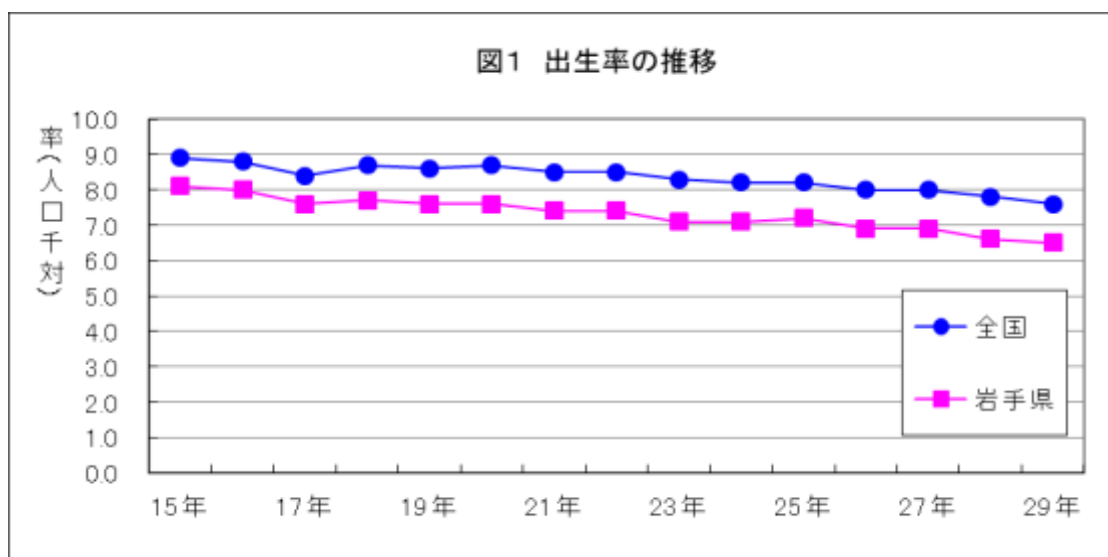
I 母子保健統計からみた岩手県の現状

1 出生の推移

(1) 出生率の推移

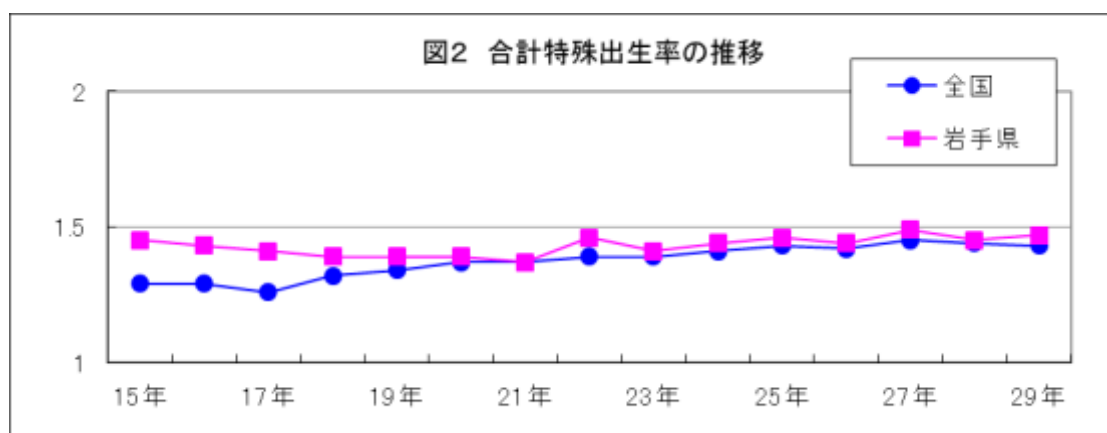
本県の出生率は、第二次大戦後の第一次ベビーブーム期である昭和 24 年の人口千対 37.5 をピークにそれ以降は、大戦影響後の婚姻の正常化に加え、人工妊娠中絶の増加と受胎調節の普及等により、第二次ベビーブーム期前の昭和 40 年頃まで急速に低下した。以降ならかに減少し、昭和 50 年から再び下降線の一途をたどり、平成 4 年には人口千対の出生率は初めて 10.0 を下回った。その後の低下速度は鈍化しているものの、平成 29 年は 6.5 と昭和 20 年代前半期の約 6 分の 1 まで低下している。

全国との比較では、昭和 30 年代までは全国より高率であったが、30 年代後半以降は全国を若干下回り推移している。出生率が全国を下回っていることの要因としては、本県の人口構成において生産年齢（15 歳から 49 歳）の女性人口が少ないこと等が考えられる。



(2) 合計特殊出生率の推移

本県の 15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率は、昭和 25 年以降低下を続け、昭和 51 年に 1.95 と人口置き換え水準（2.08）を下回った後、低下傾向にある。近年、本県の合計特殊出生率は全国を上回って推移しており、平成 29 年には 1.47 となった。



また、平成 29 年の保健所別の合計特殊出生率は、盛岡市保健所管内が最も低率であり、次いで、県央保健所管内、二戸保健所管内の順となっている。

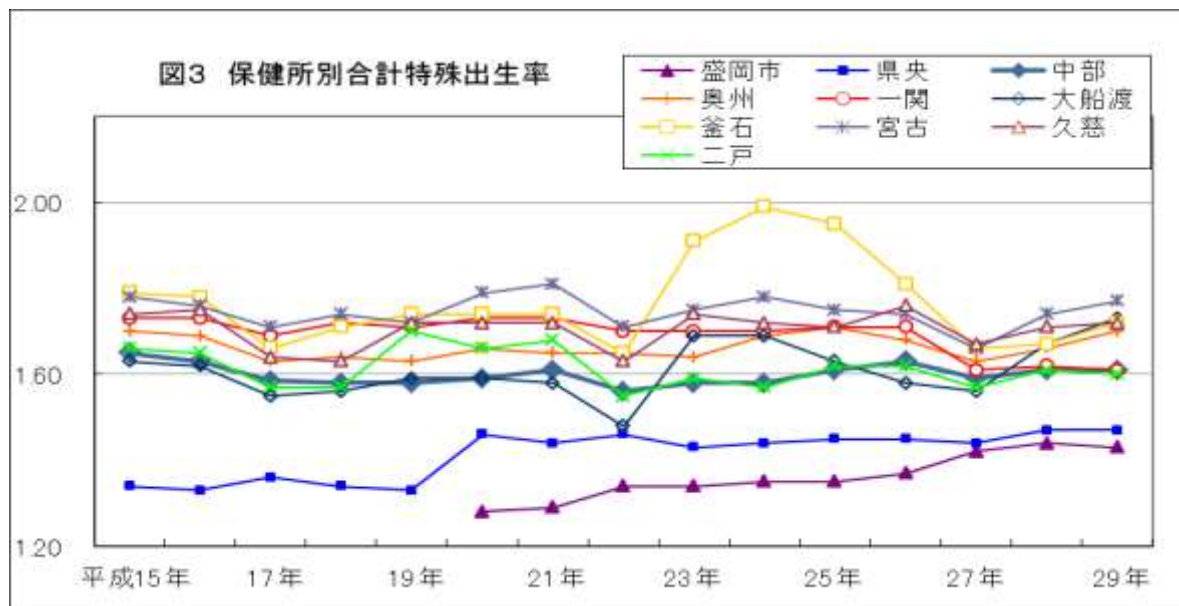
表 1 保健所別合計特殊出生率の年次推移

年次	全国	岩手県	保健所別									
			盛岡市	県央	中部	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
平成15年	1.29	1.45	-	1.34	1.65	1.70	1.73	1.63	1.79	1.78	1.74	1.66
16年	1.29	1.43	-	1.33	1.63	1.69	1.73	1.62	1.78	1.76	1.75	1.65
17年	1.26	1.41	-	1.36	1.59	1.63	1.69	1.55	1.66	1.71	1.64	1.57
18年	1.32	1.39	-	1.34	1.58	1.64	1.72	1.56	1.71	1.74	1.63	1.57
19年	1.34	1.39	-	1.33	1.58	1.63	1.71	1.59	1.74	1.72	1.72	1.70
20年	1.37	1.39	1.28	1.46	1.59	1.66	1.73	1.59	1.74	1.79	1.72	1.66
21年	1.37	1.37	1.29	1.44	1.61	1.65	1.73	1.58	1.74	1.81	1.72	1.68
22年	1.39	1.46	1.34	1.46	1.56	1.65	1.70	1.48	1.65	1.71	1.63	1.55
23年	1.39	1.41	1.34	1.43	1.58	1.64	1.70	1.69	1.91	1.75	1.74	1.59
24年	1.41	1.44	1.35	1.44	1.58	1.69	1.70	1.69	1.99	1.78	1.72	1.57
25年	1.43	1.46	1.35	1.45	1.61	1.71	1.71	1.63	1.95	1.75	1.71	1.62
26年	1.42	1.44	1.37	1.45	1.63	1.68	1.71	1.58	1.81	1.74	1.76	1.62
27年	1.45	1.49	1.42	1.44	1.59	1.63	1.61	1.56	1.66	1.66	1.67	1.57
28年	1.44	1.45	1.44	1.47	1.61	1.66	1.62	1.67	1.67	1.74	1.71	1.61
29年	1.43	1.47	1.43	1.47	1.61	1.70	1.61	1.73	1.72	1.77	1.72	1.60

資料：全国値及び岩手県値は人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）

保健所値は保健福祉年報（岩手県保健福祉部）（過去5年間の平均値で算出）

中部保健所は、平成15年から21年までは再編前の花巻・北上保健所の平均値から算出



(3) 低出生体重児の出生の推移

本県の出生総数に対する 2500 g 未満の低出生体重児の出生割合は、近年横ばい傾向であるが、長期的にみると増加しており、平成 29 年には 9.7%と昭和 55 年の 4.6%の 2 倍以上となっている。全国的にもほぼ同様の傾向にある。

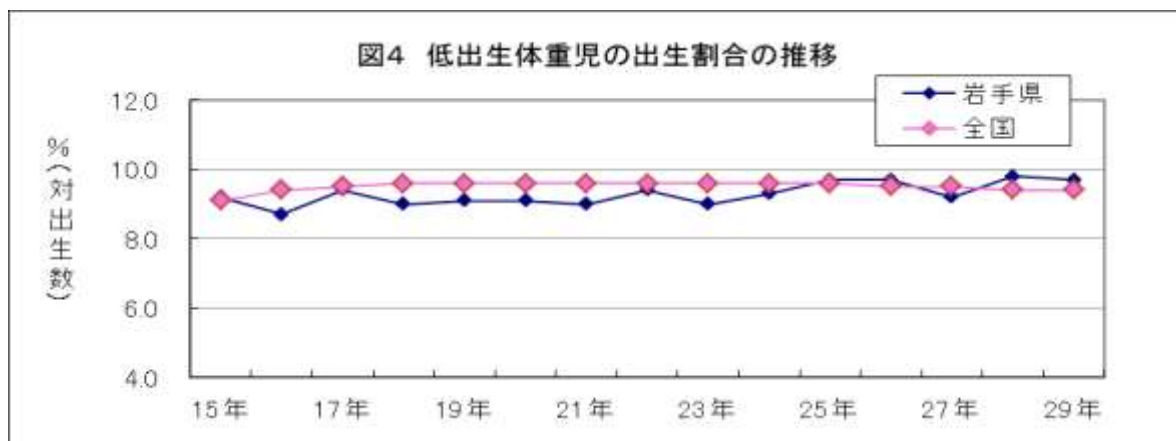
表 2 低出生体重児の出生数及び割合の年次推移

年次	出生数 (A)	低出生体重児数				総数 (B)	出生数に 対する割合 (B/A) % 岩手県	出生数に 対する割合 % 全国
		極低出生体重数		1500 g ~ 2000 g 未満	2000 g ~ 2500 g 未満			
		1000 g 未満	1000 g ~ 1500 g 未満					
平成15年	11,376	29	50	163	809	1,051	9.2	9.1
16年	11,167	34	39	123	777	973	8.7	9.4
17年	10,545	34	59	138	756	987	9.4	9.5
18年	10,556	37	48	129	741	955	9.0	9.6
19年	10,344	45	43	137	713	938	9.1	9.6
20年	10,223	41	51	109	731	932	9.1	9.6
21年	9,904	36	62	123	674	895	9.0	9.6
22年	9,745	35	46	112	723	916	9.4	9.6
23年	9,310	27	52	105	658	842	9.0	9.6
24年	9,276	32	42	116	673	863	9.3	9.6
25年	9,231	27	40	116	710	893	9.7	9.6
26年	8,803	30	47	121	660	858	9.7	9.5
27年	8,814	29	37	115	629	810	9.2	9.5
28年	8,341	24	44	123	625	816	9.8	9.4
29年	8,175	24	31	102	639	796	9.7	9.4

(注) 低出生体重児：出生時体重2,500 g 未満

資料：岩手県値：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

全国値：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）



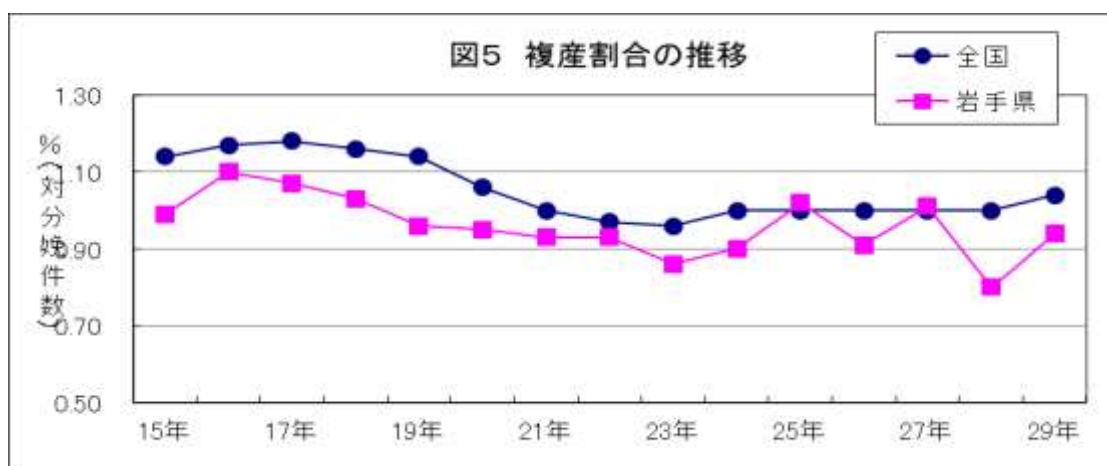
(4) 単産、複産別分娩の推移

本県分娩件数に対する複産の割合は、平成17年以降減少傾向にあったが、平成29年は、0.94%となり、複産の割合は、分娩件数106件に対し概ね1件の割合であった。

表3 単産・複産別分娩件数の年次推移（岩手県）

年次	分娩件数 総数 (A)	単産	複産				分娩件数に 対する 複産割合 (B/A) % 岩手県	分娩件数に 対する 複産割合 % 全国
			双子	三つ児	四つ児	総数 (B)		
平成15年	11,683	11,567	111	3	2	116	0.99	1.14
16年	11,479	11,352	123	3	0	126	1.10	1.17
17年	10,782	10,665	107	7	1	115	1.07	1.18
18年	10,780	10,669	107	4	0	111	1.03	1.16
19年	10,570	10,469	96	5	0	101	0.96	1.14
20年	10,401	10,302	98	0	1	99	0.95	1.06
21年	10,073	9,978	92	2	0	94	0.93	1.00
22年	9,944	9,852	92	0	0	92	0.93	0.97
23年	9,482	9,400	80	2	0	82	0.86	0.96
24年	9,452	9,366	83	2	0	85	0.90	1.00
25年	9,390	9,294	95	1	0	96	1.02	1.00
26年	8,932	8,850	78	3	0	81	0.91	1.00
27年	8,938	8,847	88	2	0	90	1.01	1.00
28年	8,457	8,390	66	1	0	67	0.80	1.00
29年	8,259	8,180	78	0	0	78	0.94	1.04

資料：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）



(5) 出生場所別出生の推移

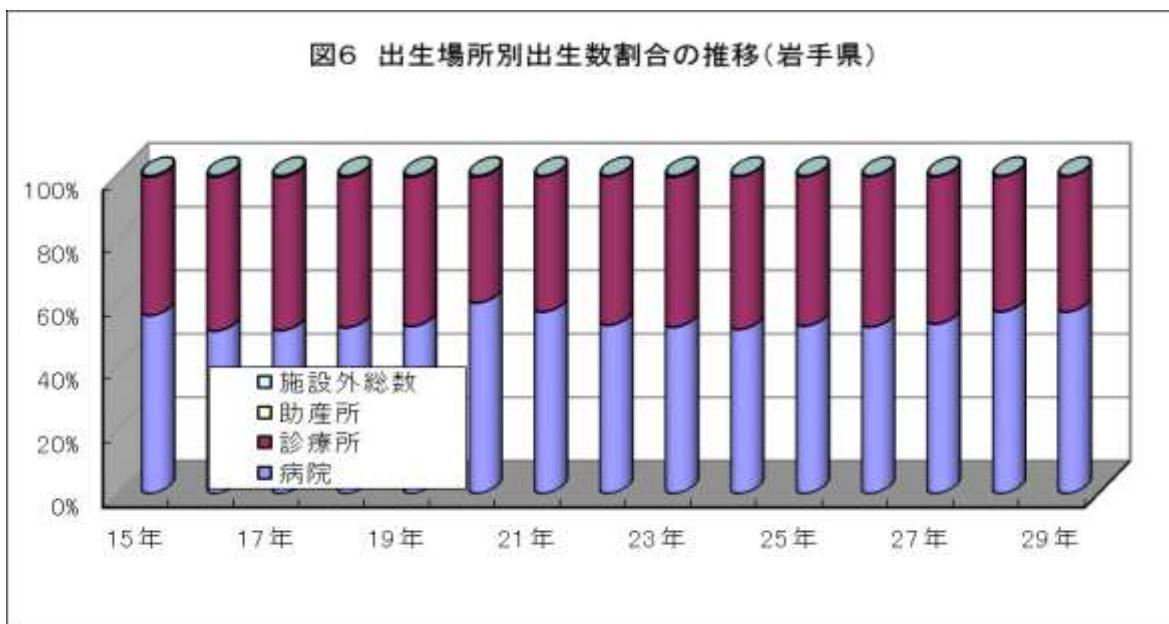
本県の施設外（自宅等）での出生割合は、平成21年以降は0.1%程度で推移しており、平成29年は、0.1%であった。施設内の出生の内訳では、病院又は診療所での出生が最も多い。

表4 出生場所別出生数の年次推移（岩手県）

年次	出生数	施設内							施設外				
		病院	割合 (%)	診療所	割合 (%)	助産所	割合 (%)	総数	割合 (%)	自宅	その他	施設外総数	割合 (%)
平成15年	11,376	6,382	56.1	4,965	43.6	7	0.1	11,354	99.8	18	4	22	0.2
16年	11,167	5,715	51.2	5,426	48.6	9	0.1	11,150	99.8	15	2	17	0.2
17年	10,545	5,412	51.3	5,096	48.3	13	0.1	10,521	99.8	18	6	24	0.2
18年	10,556	5,514	52.2	5,014	47.5	8	0.1	10,536	99.8	18	2	20	0.2
19年	10,344	5,449	52.7	4,867	47.1	8	0.1	10,324	99.8	18	2	20	0.2
20年	10,223	6,142	60.1	4,058	39.7	4	0.0	10,204	99.8	10	9	19	0.2
21年	9,904	5,660	57.1	4,225	42.7	6	0.1	9,891	99.9	3	3	6	0.1
22年	9,745	5,167	53.0	4,564	46.8	3	0.0	9,734	99.9	6	5	11	0.1
23年	9,310	4,876	52.4	4,407	47.3	7	0.1	9,290	99.8	7	13	20	0.2
24年	9,276	4,797	51.7	4,467	48.2	4	0.0	9,268	99.9	7	1	8	0.1
25年	9,231	4,872	52.8	4,346	47.1	3	0.0	9,221	99.9	8	2	10	0.1
26年	8,803	4,617	52.4	4,174	47.4	4	0.0	8,795	99.9	8	0	8	0.1
27年	8,814	4,716	53.5	4,086	46.4	7	0.1	8,809	99.9	2	3	5	0.1
28年	8,341	4,773	57.2	3,556	42.6	4	0.0	8,341	100.0	7	1	8	0.1
29年	8,175	4,678	57.2	3,489	42.7	1	0.0	8,168	99.9	3	4	7	0.1

資料：保健福祉年報（県保健福祉部）

図6 出生場所別出生数割合の推移（岩手県）



(6) 母の年齢階級別出生の推移

本県の母親の5歳年齢階級別の出生数をみると、平成20年から30～34歳が最も多くなり、平成29年も30～34歳が最も多く、2,805人であった。母の年齢階級別出生率の推移をみると、30歳以下で減少傾向であり、30歳以上は増加している。

表5 母の年齢階級別出生数の年次推移（岩手県） (人)

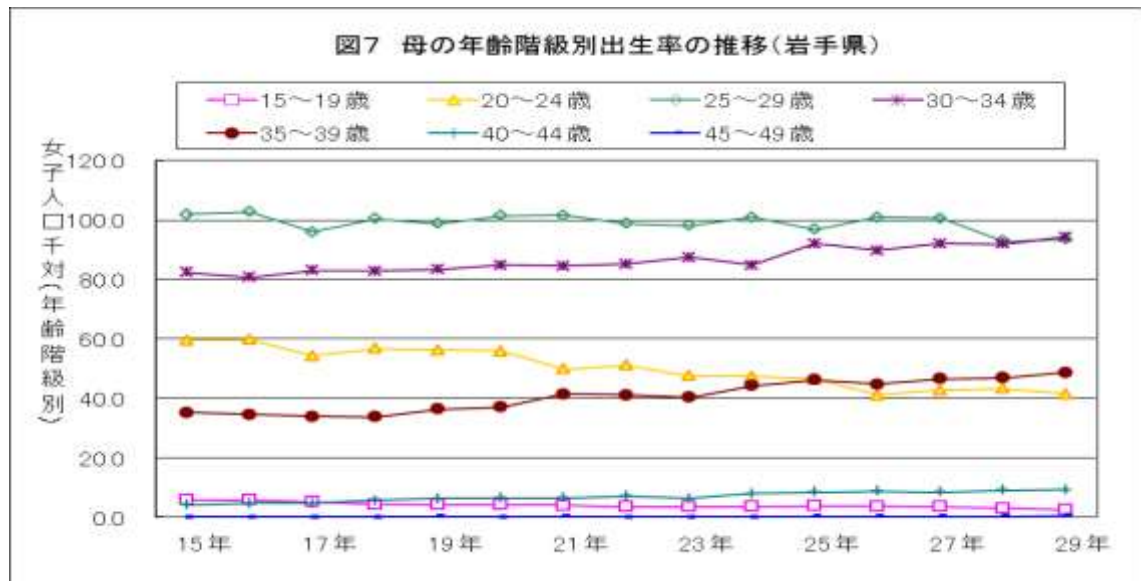
年次	出生数	母の年齢区分								
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～
平成15年	11,376	1	234	2,045	4,111	3,383	1,419	180	3	0
16年	11,167	0	222	2,042	3,975	3,343	1,386	197	2	0
17年	10,545	1	186	1,774	3,604	3,439	1,342	193	6	0
18年	10,556	1	151	1,770	3,588	3,441	1,377	226	2	0
19年	10,344	0	145	1,687	3,381	3,401	1,473	249	8	0
20年	10,223	1	145	1,634	3,311	3,364	1,506	257	5	0
21年	9,904	0	136	1,429	3,183	3,215	1,677	257	7	0
22年	9,745	0	113	1,401	3,125	3,138	1,681	280	7	0
23年	9,310	0	113	1,212	2,993	3,089	1,647	252	4	0
24年	9,276	0	113	1,180	2,965	2,915	1,779	320	3	1
25年	9,231	0	119	1,154	2,712	3,068	1,832	339	7	0
26年	8,803	0	112	1,032	2,664	2,923	1,711	349	12	0
27年	8,814	0	98	1,030	2,667	2,941	1,729	342	7	0
28年	8,341	0	89	987	2,363	2,842	1,673	374	13	0
29年	8,175	0	73	915	2,313	2,805	1,678	373	18	0

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

表6 母の年齢階級別出生率の年次推移（岩手県） (年齢階級別女性人口千対)

年次	出生数	母の年齢区分								
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～
15年	11,376	0.03	5.9	59.5	101.9	82.3	35.3	4.2	0.1	0.0
16年	11,167	0.00	5.8	59.7	102.8	80.8	34.5	4.7	0.0	0.0
17年	10,545	0.03	5.2	54.2	96.0	83.0	33.9	4.6	0.1	0.0
18年	10,556	0.03	4.3	56.8	100.4	82.8	33.8	5.7	0.0	0.0
19年	10,344	0.00	4.1	56.3	98.8	83.4	36.4	6.3	0.2	0.0
20年	10,223	0.03	4.2	55.9	101.4	84.8	37.1	6.4	0.1	0.0
21年	9,904	0.00	4.0	49.8	101.6	84.5	41.4	6.5	0.2	0.0
22年	9,745	0.00	3.5	51.2	98.8	85.1	41.2	7.1	0.1	0.0
23年	9,310	0.00	3.6	47.6	98.1	87.4	40.3	6.3	0.1	0.0
24年	9,276	0.00	3.6	47.3	101.0	84.9	44.2	8.0	0.1	0.0
25年	9,231	0.00	3.9	46.4	96.9	92.1	46.3	8.5	0.2	0.0
26年	8,803	0.00	3.7	41.1	101.0	89.7	44.7	8.7	0.3	0.0
27年	8,814	0.00	3.5	42.7	100.6	92.1	46.5	8.4	0.2	0.0
28年	8,341	0.00	3.1	43.2	92.9	91.9	46.9	9.1	0.3	0.0
29年	8,175	0.00	2.5	41.5	93.6	94.3	48.7	9.3	0.5	0.0

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）



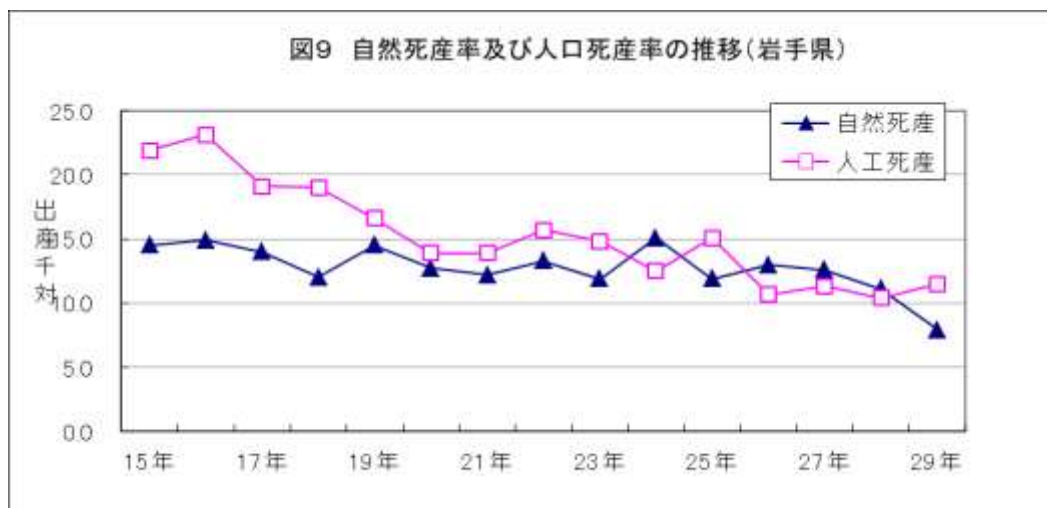
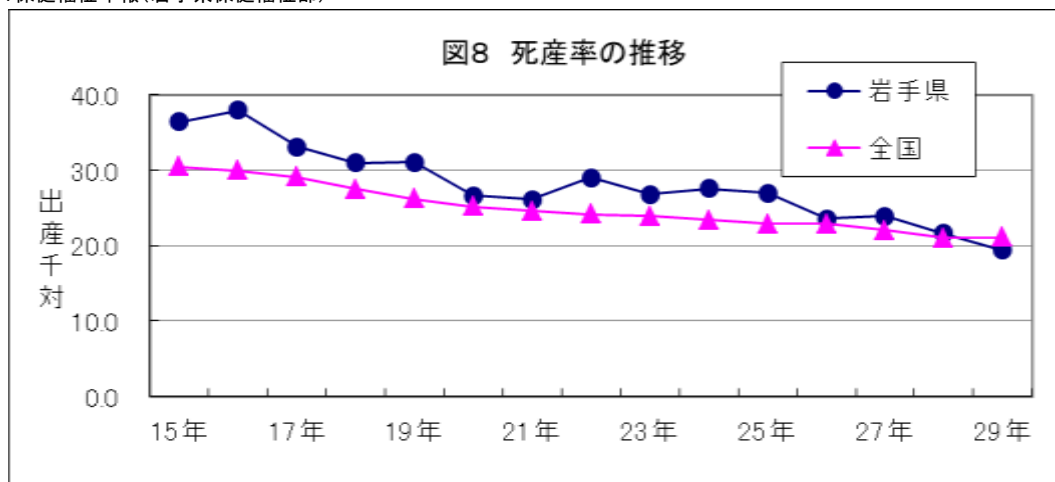
2 死産の推移

昭和 23 年に「優性保護法」が施行され、昭和 23 年以降は自然死産と人工死産に分類されるようになった。「優生保護法」は、平成 8 年に「母体保護法」に改正された。死産の実数については、昭和 40 年以降減少傾向にあり、平成 29 年は 162 件となっている。

表7 死産数及び死産率の推移(岩手県)

年次	実数			率(出産千対)			全死産に対する人工死産の割合(%)
	死産総数		人工死産	総数死亡率		人工死産	
	自然死産	人工死産		自然死産	人工死産		
平成15年	430	171	259	36.4	14.5	21.9	60.2
16年	441	173	268	38.0	14.9	23.1	60.8
17年	361	153	208	33.1	14.0	19.1	57.6
18年	338	131	207	31.0	12.0	19.0	61.2
19年	332	155	177	31.1	14.5	16.6	53.3
20年	279	133	146	26.6	12.7	13.9	52.3
21年	265	124	141	26.2	12.2	13.9	53.2
22年	291	133	158	29.0	13.3	15.7	54.3
23年	256	114	142	26.8	11.9	14.8	55.5
24年	263	144	119	27.6	15.1	12.5	45.2
25年	256	113	143	27.0	11.9	15.1	55.9
26年	213	117	96	23.6	13.0	10.6	45.1
27年	216	114	102	23.9	12.6	11.3	47.2
28年	184	95	89	21.6	11.1	10.4	48.4
29年	162	66	96	19.4	7.9	11.5	59.3

資料:保健福祉年報(岩手県保健福祉部)



保健所別の死産率をみると、平成20年から平成29年までの死産率の平均では、久慈保健所管内が28.4と最も高く、次いで二戸保健所管内の27.4、一関保健所管内の25.7の順で高率となっている。また、自然死産の死産率の平均は、二戸保健所管内、久慈保健所管内、中部保健所管内の順で高くなっている。一方、人工死産の死産率の平均は、久慈保健所管内、一関保健所管内、大船渡保健所管内の順となっている。

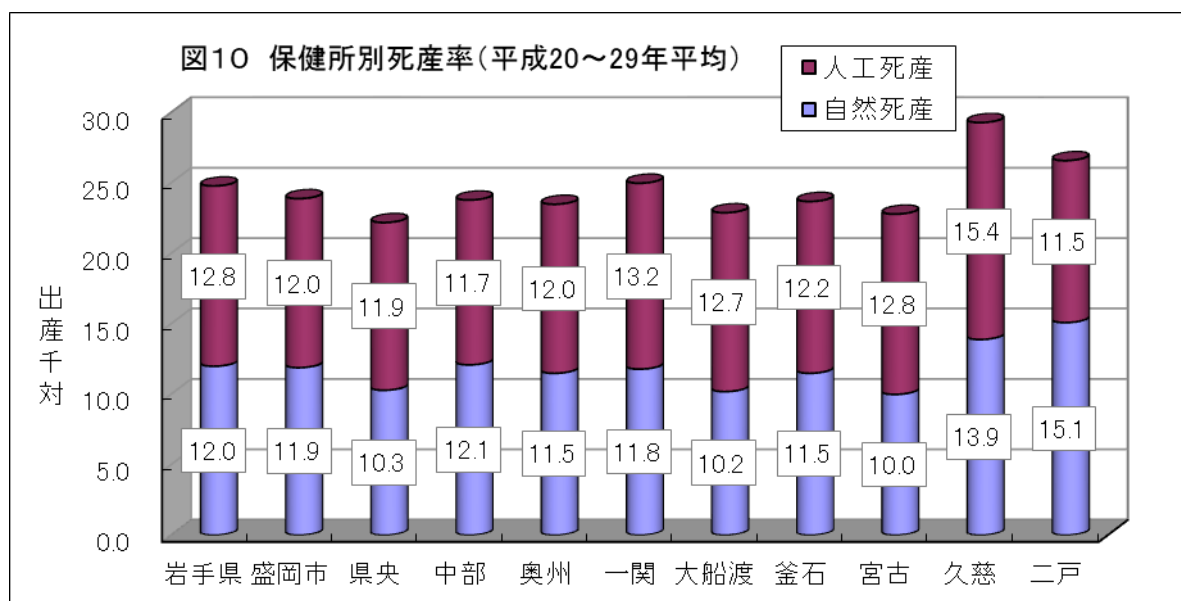
表8 保健所別死産数及び死産率(出産千対)

	20年		21年		22年		23年		24年		25年		26年		27年		28年		29年		20~29 平均率	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
岩手県 総数	279	26.6	265	26.1	291	29.0	256	26.8	263	27.6	256	27.0	213	23.6	216	23.9	184	21.6	162	19.4	24.8	
	自然死産	133	12.7	124	12.2	133	13.3	114	11.9	144	15.1	113	11.9	117	13.0	114	12.6	95	11.1	66	7.9	12.0
	人工死産	146	13.9	141	13.9	158	15.7	142	14.8	119	12.5	143	15.1	96	10.6	102	11.3	89	10.4	96	11.5	12.8
盛岡市 総数	77	29.5	67	25.7	64	24.6	73	29.0	68	26.7	62	24.4	57	23.2	52	21.4	53	22.6	46	20.1	24.0	
	自然死産	34	13.0	31	11.9	36	13.8	34	13.5	34	13.4	26	10.2	30	12.2	25	10.3	31	13.2	21	9.2	11.9
	人工死産	43	16.5	36	13.8	28	10.7	39	15.5	34	13.4	36	14.2	27	11.0	27	11.1	22	9.4	25	10.9	12.1
県央 総数	27	19.2	47	33.5	43	30.0	34	26.4	38	28.7	45	34.8	36	29.5	33	25.7	28	23.1	25	21.1	22.3	
	自然死産	15	10.7	19	13.5	18	12.6	19	14.7	23	17.4	16	12.4	19	15.5	16	12.5	12	9.9	7	5.9	10.3
	人工死産	12	8.6	28	19.9	25	17.4	15	11.6	15	11.3	29	22.4	17	13.9	17	13.3	16	13.2	18	15.2	12.0
中部 総数	50	26.5	44	24.0	55	30.7	45	25.6	49	28.8	41	23.3	32	19.1	39	24.4	33	22.1	25	16.6	23.6	
	自然死産	21	11.2	18	9.9	24	13.4	22	12.5	27	15.8	21	11.9	20	12.0	27	16.9	18	12.0	13	8.6	12.1
	人工死産	29	15.4	26	14.2	31	17.3	23	13.1	22	12.9	20	11.4	12	7.2	12	7.5	15	10.0	12	7.9	11.6
奥州 総数	30	25.8	27	25.0	30	27.5	22	20.7	25	24.4	24	23.5	25	27.1	21	21.4	23	24.9	17	18.7	23.6	
	自然死産	12	10.3	16	14.8	13	11.9	9	8.5	12	11.7	8	7.8	17	18.4	15	15.3	12	13.0	5	5.5	11.5
	人工死産	18	15.5	11	10.2	17	15.6	13	12.3	13	12.7	16	15.7	8	8.7	6	6.1	11	11.9	12	13.2	12.1
一関 総数	28	25.9	24	25.1	30	30.1	21	23.2	34	37.9	24	27.2	20	24.5	24	30.6	11	14.6	17	24.2	25.7	
	自然死産	16	14.8	10	10.5	10	10.0	3	3.3	24	26.8	10	11.3	13	15.9	11	14.0	5	6.6	5	7.1	11.8
	人工死産	12	11.1	14	14.7	20	20.1	18	19.9	10	11.1	14	15.9	7	8.6	13	16.6	6	7.9	12	17.1	13.9
大船渡 総数	11	15.0	17	36.9	10	24.0	12	32.5	8	21.7	8	23.0	7	19.3	6	14.7	5	14.1	9	26.0	23.7	
	自然死産	3	6.8	9	21.1	5	12.0	4	10.8	4	10.9	4	11.5	3	8.3	3	7.4	2	5.6	3	8.7	10.2
	人工死産	8	18.2	8	18.8	5	12.0	8	21.7	4	10.9	4	11.5	4	11.0	3	7.4	3	8.5	6	17.3	13.5
釜石 総数	10	27.3	7	18.3	10	32.6	9	27.4	7	23.6	12	38.1	5	17.1	5	17.1	6	22.9	4	13.9	23.4	
	自然死産	5	13.7	5	13.1	4	13.0	4	12.2	2	6.7	6	19.0	4	13.7	2	6.8	3	11.5	2	6.9	11.5
	人工死産	5	13.7	2	5.2	6	19.5	5	15.2	5	16.8	6	19.0	1	3.4	3	10.3	3	11.5	2	6.9	11.9
宮古 総数	20	28.3	14	22.7	19	32.7	11	21.0	10	17.5	10	17.6	11	22.2	12	21.7	11	20.8	11	22.4	22.3	
	自然死産	13	18.4	4	6.5	5	8.6	4	7.6	4	7.0	7	12.3	3	6.1	5	9.0	5	9.5	8	16.3	10.0
	人工死産	7	9.9	10	16.2	14	24.1	7	13.3	6	10.5	3	5.3	8	16.2	7	12.7	6	11.4	3	6.1	12.3
久慈 総数	14	29.4	10	21.1	20	45.1	16	34.9	16	36.2	12	29.7	11	24.7	16	40.7	9	24.9	1	2.9	28.4	
	自然死産	5	10.5	5	10.5	10	22.6	9	19.6	10	22.6	7	17.3	5	11.2	6	15.3	4	11.1	0	0.0	13.9
	人工死産	9	18.9	5	10.5	10	22.6	7	15.3	6	13.6	5	12.4	6	13.5	10	25.4	5	13.9	1	2.9	14.5
二戸 総数	12	32.4	8	20.9	10	27.0	13	36.2	8	21.8	18	50.3	9	27.3	8	26.3	5	17.1	7	25.6	27.4	
	自然死産	9	24.3	7	18.3	8	21.6	6	16.7	4	10.9	8	22.3	3	9.1	4	13.2	3	10.3	2	7.3	15.1
	人工死産	3	8.1	1	2.6	2	5.4	7	19.5	4	10.9	10	27.9	6	18.2	4	13.2	2	6.8	5	18.3	12.3

資料：保健福祉年報(岩手県保健福祉部)

平成20年から29年の平均率については、過去10年間の死産数実数及び出産数の合計をもって算出

平成20年から21年の中部保健所の値について、花巻保健所と北上保健所の値から算出

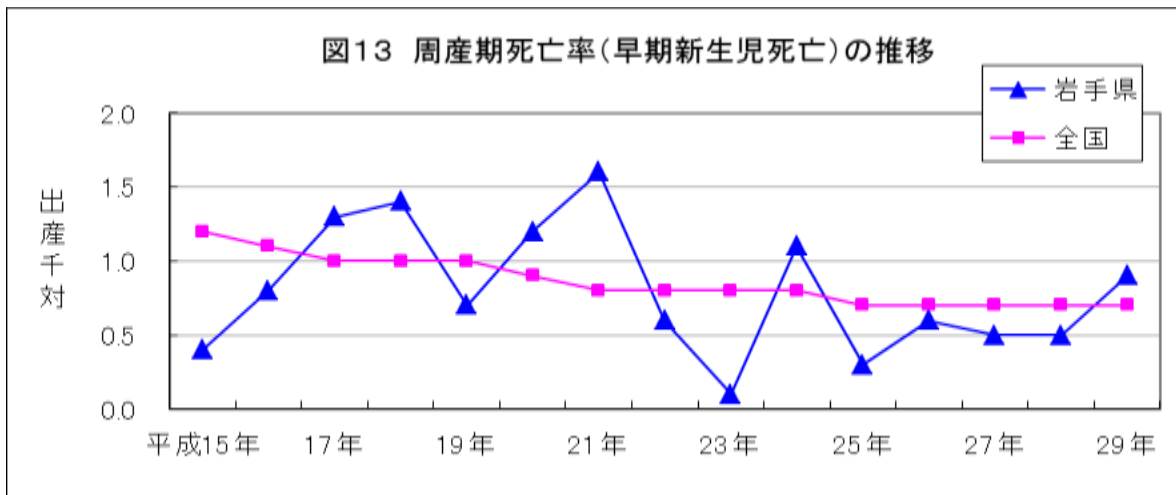
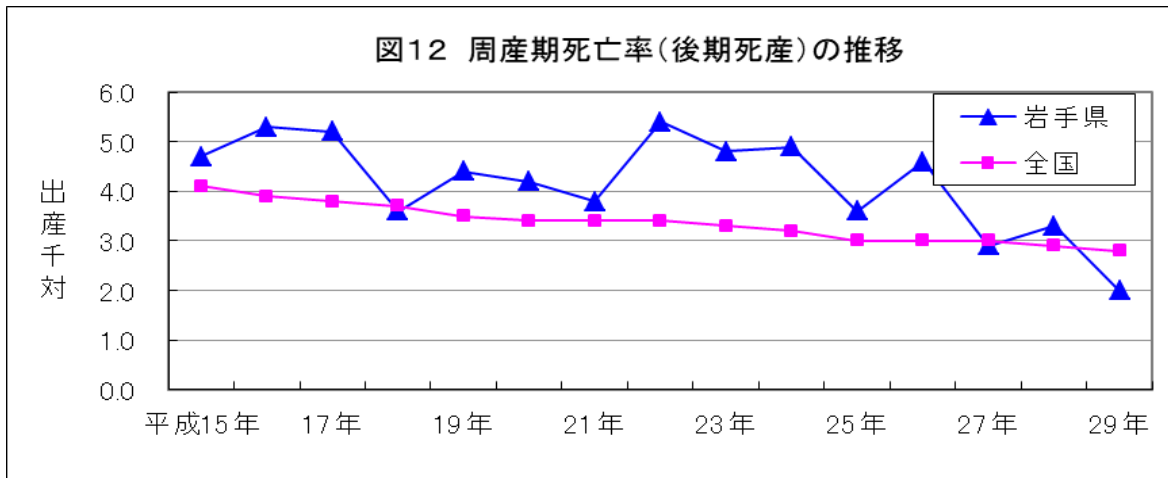
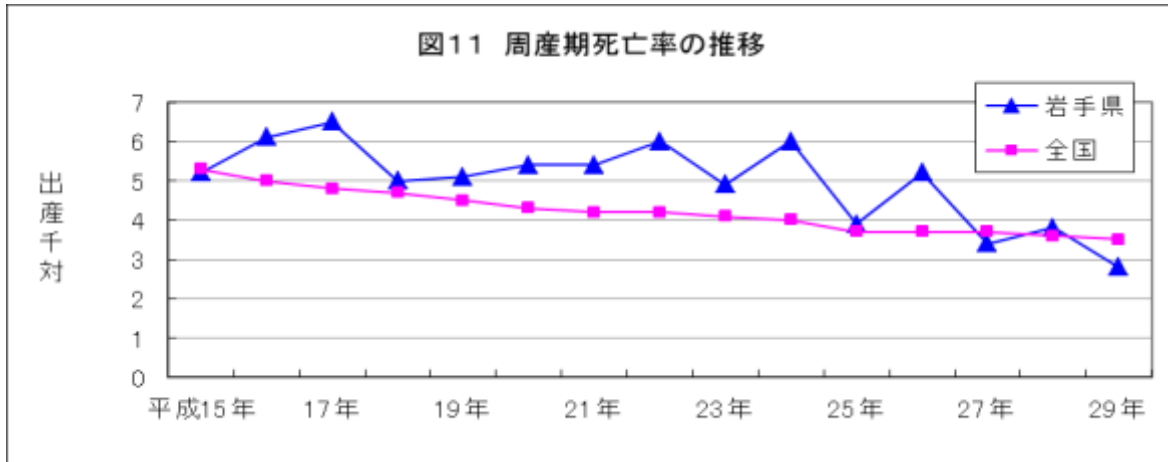


3 周産期死亡の推移

全国及び本県の周産期死亡率は、減少傾向である。本県の周産期死亡率は平成29年に2.8となり、全国（3.5）を下回っている。

また、本県の後期死産率（妊娠22週以降の死産）は全国を上回って推移していたが、平成29年は2.0となり、全国の値（2.8）を下回った。

早期新生児死亡率（生後1週未満）は平成25年以降、全国を下回って推移していたが、平成28年に上回り、平成29年は0.9となり、全国（0.7）を上回っている。



保健所別の周産期死亡率をみると、平成20年から平成29年までの周産期死亡率の平均では、久慈保健所、宮古保健所、盛岡市保健所管内の順で高くなっている。

また、後期死産の平均をみると、久慈保健所、宮古保健所、盛岡市保健所管内の順で高くなっており、早期新生児死亡の平均では、釜石保健所、中部保健所、久慈保健所管内の順で高くなっている。

表9 保健所別周産期死亡数及び周産期死亡率(出産千対)

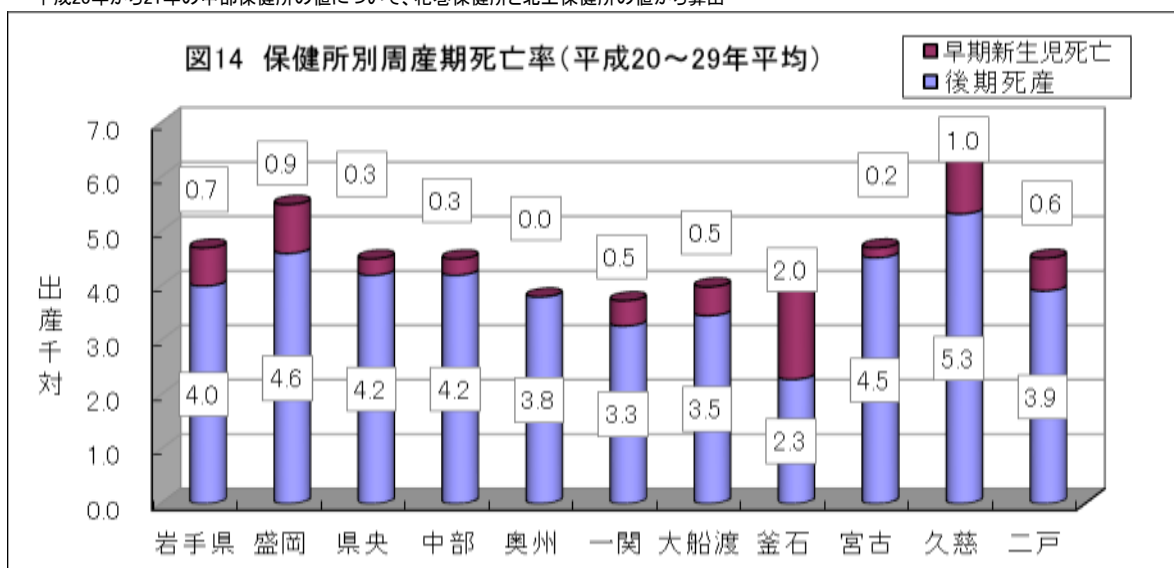
	20年		21年		22年		23年		24年		25年		26年		27年		28年		29年		20~29 平均率
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	
岩手県 総数	55	5.4	54	5.4	59	6.0	46	4.9	56	6.0	36	3.9	46	5.2	30	3.8	32	3.8	23	2.8	4.7
後期死産	43	4.2	38	3.8	53	5.4	45	4.8	46	4.9	33	3.6	41	4.6	26	3.3	28	3.3	16	2.0	4.0
早期新生児死亡	12	1.2	16	1.6	6	0.6	1	0.1	10	1.1	3	0.3	5	0.6	4	0.5	4	0.5	7	0.9	0.7
盛岡市 総数	13	5.1	19	7.4	17	6.6	10	4.1	12	4.8	10	4.0	20	8.3	6	3.5	10	4.3	9	4.0	4.6
後期死産	12	4.7	13	5.1	15	5.9	10	4.1	10	4.0	9	3.6	16	6.6	8	3.5	8	3.5	5	2.2	4.3
早期新生児死亡	1	0.4	6	2.3	2	0.8	-	-	2	0.8	1	0.4	4	1.7	-	-	2	0.9	4	1.8	0.9
県央 総数	5	3.6	6	4.4	8	5.7	8	6.3	10	7.7	3	2.4	5	4.2	3	4.2	5	4.2	0	0.0	4.2
後期死産	4	2.9	5	3.7	7	5.0	8	6.3	9	7.0	3	2.4	5	4.2	3	4.2	5	4.2	0	0.0	3.8
早期新生児死亡	1	0.7	1	0.7	1	0.7	-	-	1	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3
中部 総数	6	3.3	13	7.2	12	6.9	11	6.4	14	8.4	7	4.1	5	3.0	8	4.1	6	4.1	4	2.7	4.2
後期死産	4	4.6	6	3.3	10	5.7	10	5.8	11	6.6	5	2.9	5	3.0	6	4.1	6	4.1	4	2.7	3.6
早期新生児死亡	2	2.0	7	3.9	2	1.1	1	0.6	3	1.8	2	1.2	-	-	2	0	-	-	-	-	1.5
花巻 総数	2	2.0	3	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
後期死産	-	-	2	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
早期新生児死亡	2	2.0	1	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北上 総数	4	4.6	10	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
後期死産	4	4.6	4	4.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
早期新生児死亡	-	-	6	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奥州 総数	3	2.6	4	3.8	6	5.6	6	5.7	4	4.0	3	3.0	5	5.5	2	4.4	4	4.4	1	1.1	3.8
後期死産	3	2.6	4	3.8	6	5.6	6	5.7	4	4.0	3	3.0	5	5.5	2	4.4	4	4.4	1	1.1	3.8
早期新生児死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一関 総数	11	10.4	1	1.1	5	5.1	-	-	5	5.8	2	2.3	2	2.5	4	2.7	2	2.7	0	0.0	3.7
後期死産	8	7.6	1	1.1	4	4.1	-	-	5	5.8	2	2.3	2	2.5	4	2.7	2	2.7	0	0.0	3.3
早期新生児死亡	3	2.8	-	-	1	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
大船渡 総数	2	4.6	3	7.3	2	4.9	-	-	2	5.5	3	8.7	2	5.6	1	0.0	-	-	-	-	4.0
後期死産	2	4.6	3	7.3	2	4.9	-	-	1	2.8	3	8.7	1	2.8	1	0.0	-	-	-	-	3.5
早期新生児死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2.8	-	-	1	2.8	-	-	-	-	-	-	0.5
釜石 総数	2	5.6	1	2.7	1	3.4	1	3.1	2	6.9	1	3.3	2	6.9	2	3.9	1	3.9	0	0.0	4.2
後期死産	1	2.8	-	-	1	3.4	1	3.1	1	3.4	1	3.3	2	6.9	-	-	-	-	-	-	2.3
早期新生児死亡	1	2.8	1	2.7	-	-	-	-	1	3.4	-	-	-	-	2	3.9	1	3.9	0	0.0	2.0
宮古 総数	7	10.1	3	4.9	1	1.8	2	3.9	1	1.8	3	5.3	3	6.2	1	3.9	2	3.9	3	6.3	4.7
後期死産	6	8.7	3	4.9	1	1.8	2	3.9	1	1.8	3	5.3	3	6.2	1	3.9	2	3.9	3	6.3	4.5
早期新生児死亡	1	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2
久慈 総数	4	8.6	2	4.3	3	7.0	4	8.9	5	11.7	2	5.1	2	4.6	3	2.8	1	2.8	0	0.0	6.3
後期死産	3	6.4	1	2.2	3	7.0	4	8.9	3	7.0	2	5.1	2	4.6	3	2.8	1	2.8	0	0.0	5.3
早期新生児死亡	1	2.1	1	2.2	-	-	-	-	2	4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0
二戸 総数	2	5.6	2	5.3	4	11.0	4	11.4	1	2.8	2	5.8	-	-	-	-	0	3.5	0	3.5	4.5
後期死産	-	-	2	5.3	4	11.0	4	11.4	1	2.8	2	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	3.9
早期新生児死亡	2	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3.5	0	3.5	0.6

資料：保健福祉年報(岩手県保健福祉部)

ただし、花巻及び釜石保健所値は環境保健総合システム(岩手県環境保健研究センター)

平成18年から27年の平均率については、過去10年間の周産期死亡数実数及び出産数の合計をもって算出

平成20年から21年の中部保健所の値について、花巻保健所と北上保健所の値から算出



4 妊産婦死亡の推移

妊産婦死亡は、妊産婦におかれている保健管理レベルを表す重要な指標であり、本県においては、全国と同様に昭和 60 年代まで減少傾向を示し推移してきた。平成 22～24 年、26 年、28 年において、各 1 人の死亡が発生した。

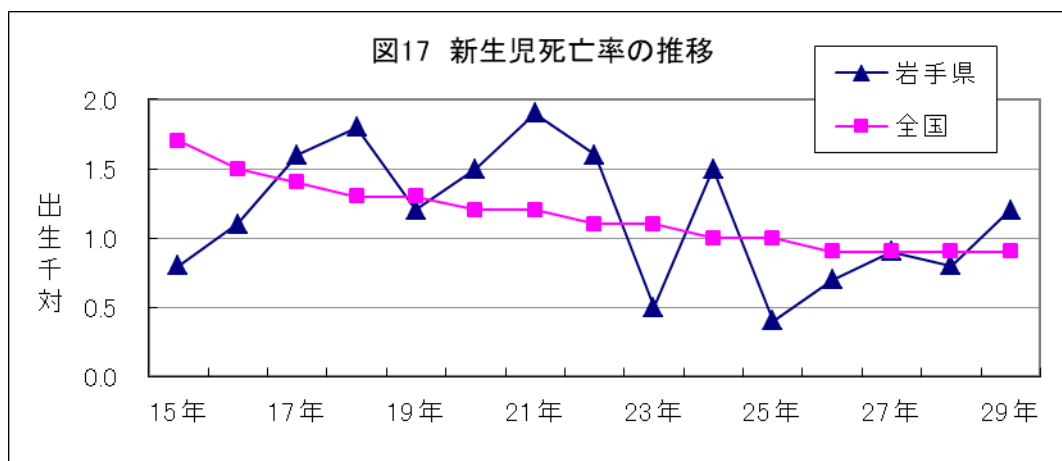


5 乳児死亡の推移

(1) 新生児死亡の推移

本県の生後 4 週未満の新生児死亡率は、昭和 30 年には出生千対 29.6 であったものが、平成 29 年には 1.2 となっている。

本県においては、昭和 57 年に岩手医科大学附属病院に NICU（新生児集中治療室）が開設されており、生活環境水準の向上とともに、周産期医療体制の整備等がこれまでの新生児死亡数の減少につながっているものと考えられる。



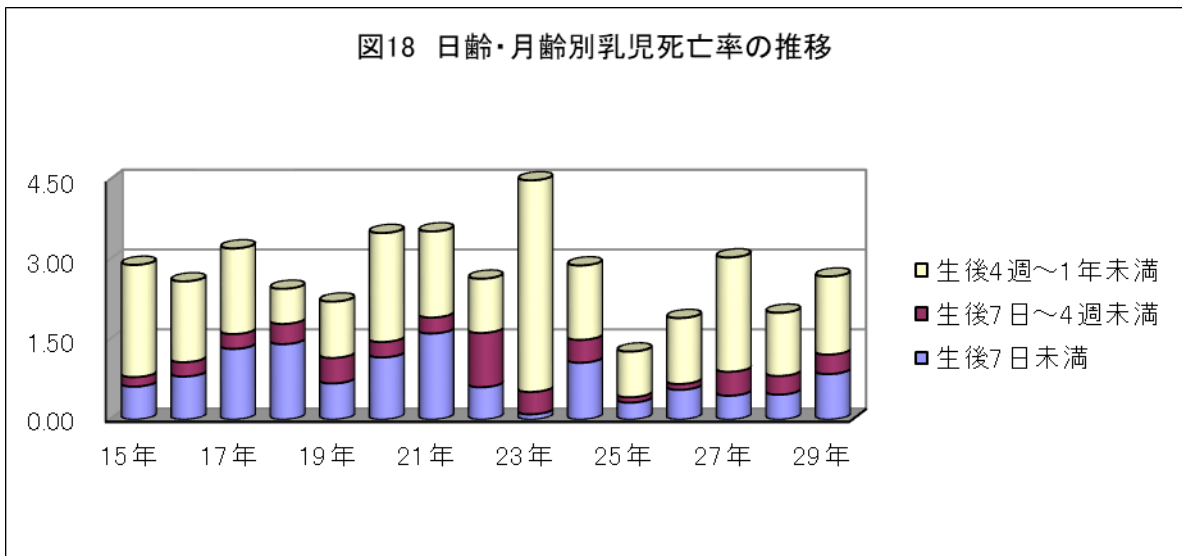
(2) 早期新生児死亡の推移

本県の乳児死亡率を日齢・月齢別に「生後 7 日未満（早期新生児死亡）」、「生後 7 日以降 4 週未満」、「生後 4 週以降」に分け、それぞれ出生千対で見ると、平成 29 年は、「生後 7 日未満（早期新生児死亡）」は 0.86、「生後 7 日以降 4 週未満」は 0.37 であった。

表10 日齢・月齢別乳児死亡数及び乳児死亡率

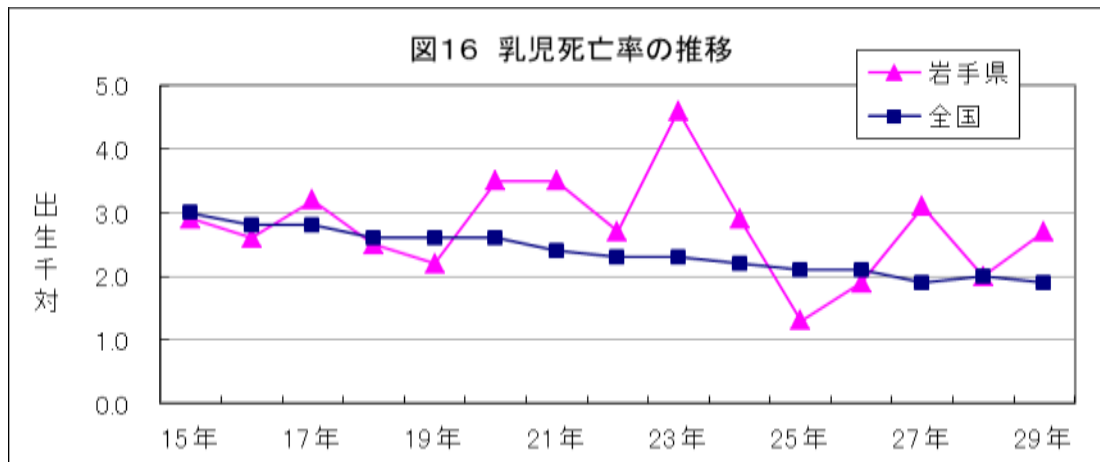
年次	実数					率(出生千対)				
	乳児死亡数	新生児死亡			生後4週～1年未満	乳児死亡率	新生児死亡			生後4週～1年未満
		生後7日未満	生後7日～4週未満	生後7日未満			生後7日～4週未満			
平成15年	33	9	7	2	24	2.90	0.79	0.62	0.18	2.11
16年	29	12	9	3	17	2.60	1.07	0.81	0.27	1.52
17年	34	17	14	3	17	3.22	1.61	1.33	0.28	1.61
18年	26	19	15	4	7	2.46	1.80	1.42	0.38	0.66
19年	23	12	7	5	11	2.22	1.16	0.68	0.48	1.06
20年	36	15	12	3	21	3.52	1.46	1.17	0.29	2.05
21年	35	19	16	3	16	3.53	1.92	1.62	0.30	1.62
22年	26	16	6	10	10	2.67	1.64	0.61	1.02	1.02
23年	43	5	1	4	38	4.61	0.53	0.10	0.42	4.08
24年	27	14	10	4	13	2.91	1.50	1.07	0.43	1.40
25年	12	4	3	1	8	1.29	0.43	0.32	0.10	0.86
26年	17	6	5	1	11	1.93	0.68	0.56	0.11	1.24
27年	27	8	4	4	19	3.06	0.90	0.45	0.45	2.15
28年	17	7	4	3	10	2.03	0.83	0.47	0.35	1.19
29年	22	10	7	3	12	2.69	1.22	0.86	0.37	1.47

資料：保健福祉年報(岩手県保健福祉部)



(3) 乳児死亡の推移

本県の乳児死亡率は、家庭の生活水準や衛生状態、地域及び社会全体の保健、医療、環境水準の向上により急速に改善され、昭和22年には出生千対98.2であったものが、昭和35年には48.4と半減。その後も改善し、昭和55年には9.1と1桁台を達成し、昭和60年には5.0とさらに半減。平成7年以降は2.0～3.0程度で推移している。



(4) 乳児死亡の死因

本県の乳児死亡の死因について、平成20年から平成29年までの10年間の乳児死亡総数に占める死因別死亡割合をみると、図19のとおり「先天性奇形、変形及び染色体異常」が32.8%と最も多く、次いで「周産期に発生した病態」が24.4%、「その他の全ての疾患」15.3%となっている。

育児環境等との関連がある「不慮の事故」や「乳幼児突然死症候群」については、年に数件程度の死亡例が報告されている状況にある。

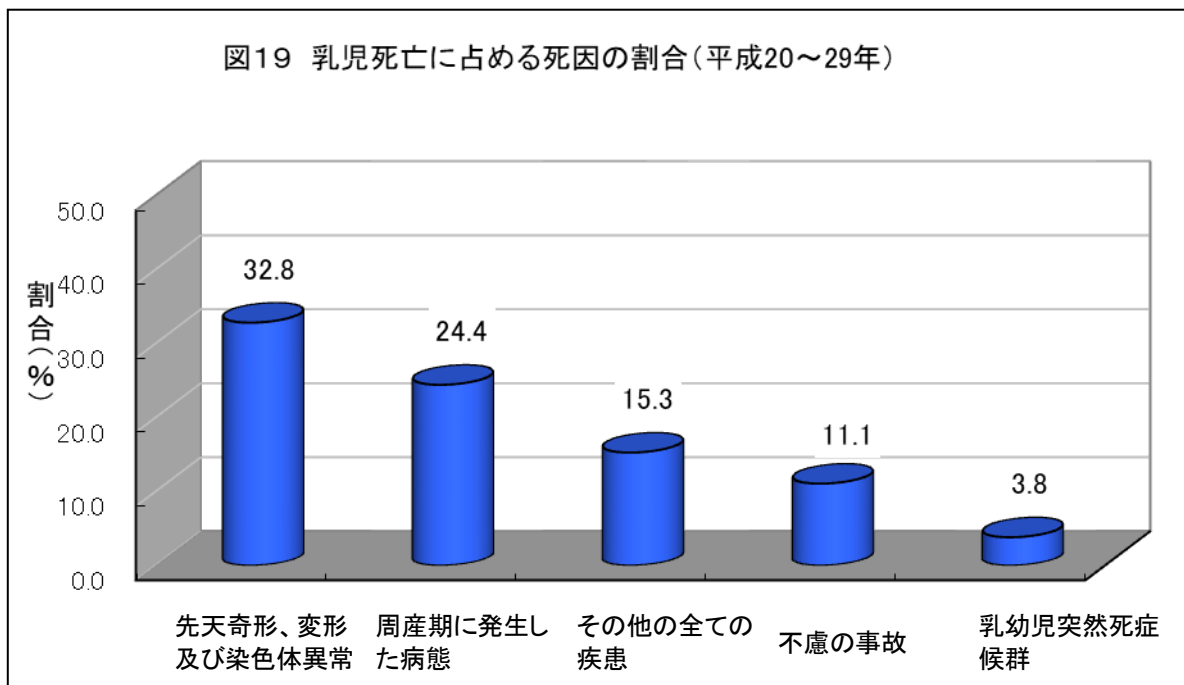


表11 死因別乳児死亡数(岩手県)

(人)

年次		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
乳児死亡数		36	35	26	43	27	12	17	27	17	22
乳児 死 因 分 類	Ba 01 腸管感染症		1	1					2		
	Ba 02 敗血症	1									
	Ba 03 麻疹										
	Ba 04 ウイルス肝炎										
	Ba 05 その他の感染症及び寄生虫								1		
	Ba 06 悪性新生物						1				
	Ba 07 白血病										
	Ba 08 その他の悪性新生物						1				
	Ba 09 その他の新生物		1				1	1		1	
	Ba 10 栄養失調症及びその他の栄養欠乏症										
	Ba 11 代謝障害			1	1			1			1
	Ba 12 髄膜炎									1	
	Ba 13 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群										
	Ba 14 脳性麻痺										
	Ba 15 心疾患(高血圧性除く)	1		1	2				1	1	1
	Ba 16 脳血管疾患										
	Ba 17 インフルエンザ										
	Ba 18 肺炎	1			1	1			1		1
	Ba 19 喘息										
	Ba 20 ヘルニア及び腸閉塞						2				
	Ba 21 肝疾患										
	Ba 22 腎不全										
	Ba 23 周産期に発生した病態	15	16	9	5	4	2	3	4	3	3
	Ba 24 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	1	7	3	3	2		1			1
	Ba 25 出産外傷	1									
	Ba 26 出生時仮死	2		1	1	1		1	1		1
	Ba 27 新生児の呼吸窮迫		3								
	Ba 28 周産期に発生した肺出血										
	Ba 29 周産期に発生した心血管障害						1		1		
	Ba 30 その他の周産期に特異的な呼吸障害及び血管障害	3	2	1				1		2	1
	Ba 31 新生児の細菌性敗血症	2	2	1							1
	Ba 32 その他の周産期に特異的な感染症										
	Ba 33 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	5		3				1		1	
	Ba 34 その他の周産期に発生した病態	1	2		1						1
	Ba 35 先天奇形、変形及び染色体異常	12	10	11	6	13	3	10	5	7	9
	Ba 36 神経系の先天奇形		2				1		1		
	Ba 37 心臓の先天奇形	5	3	6		2		2	1	1	
	Ba 38 その他循環器系の先天奇形	1		2	1		1	2			3
	Ba 39 呼吸器系の先天奇形				1						1
	Ba 40 消化器系の先天奇形	1		1	1				1		1
	Ba 41 筋骨格系の先天奇形及び変形		2				2		1	3	1
	Ba 42 その他の先天奇形及び変形	2	1				7	1			2
	Ba 43 染色体異常、他に分類されないもの	3	2	2	3	1	1	3	1	2	3
	Ba 44 乳幼児突然死症候群	2	1		1	3	2				1
	Ba 45 その他の全ての疾患	3	5	2	4	2	2	2	10	3	7
	Ba 46 不慮の事故	1	1	1	23			1		2	
	Ba 47 交通事故										
	Ba 48 転倒・転落										
	Ba 49 不慮の溺死及び溺水										
	Ba 50 胃内容物誤嚥及び気道閉塞を生じた食物等誤嚥				2						
	Ba 51 その他の不慮の窒息	1	1	1				1		2	
	Ba 52 煙、火及び火災への曝露										
	Ba 53 有害物質により不慮の中毒及び有害物質への曝露										
	Ba 54 その他の不慮の事故				21						
	Ba 55 他殺										
	Ba 56 その他の外因									2	1

資料: 保健福祉年報(岩手県保健福祉部)

6 人工妊娠中絶の推移

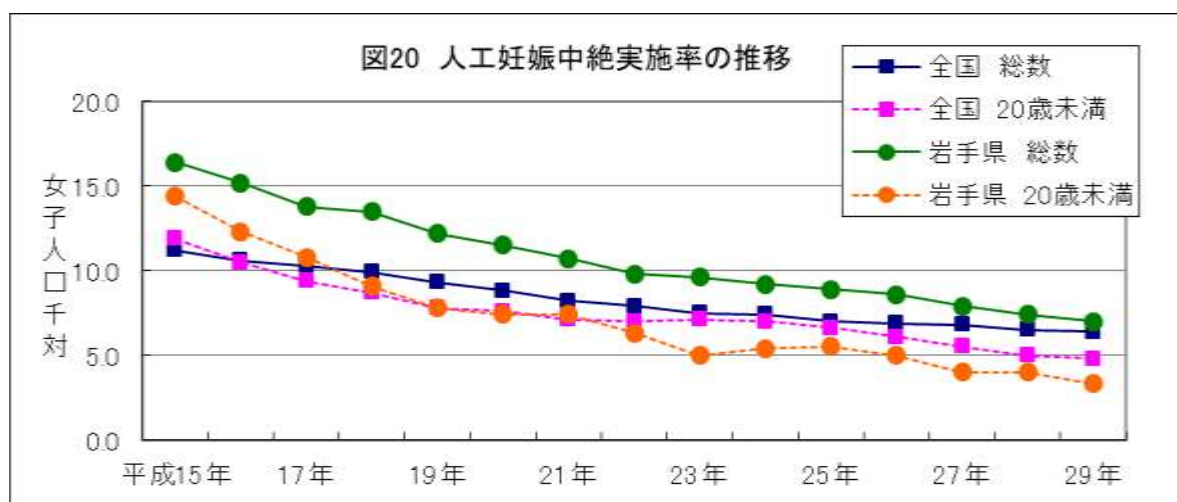
人工妊娠中絶件数は、昭和23年に制定された「優性保護法」が昭和24年改正により経済的理由による人工妊娠中絶が可能となったことにより、その件数は増加した。しかし、その後家族計画の普及や、15歳から49歳までの女子人口の減少等により人工妊娠中絶件数は年々減少しており、本県の平成29年度の人工妊娠中絶件数は1,556人と、昭和45年の約3分の1以下まで減少した。優性保護法は、平成8年に母体保護法に改正された。

年次	岩手県	(再掲 年齢階級別)								
		不詳	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
平成15年度	4,669	-	561	1,173	985	863	723	323	41	0
16年度	4,245	1	456	1,050	956	815	606	322	39	0
17年度	3,796	-	385	938	815	757	605	272	23	1
18年度	3,642	0	319	882	845	752	577	240	25	2
19年度	3,272	-	266	806	752	675	493	254	25	1
20年度	3,023	0	238	671	660	689	538	214	12	1
21年度	2,775	-	229	601	613	622	479	214	16	1
22年度	2,435	-	198	491	527	506	500	192	19	2
23年度	2,342	1	160	487	523	523	457	173	16	2
24年度	2,205	-	166	457	484	482	429	183	4	-
25年度	2,092	1	165	428	456	454	395	179	14	-
26年度	1,990	0	150	380	399	436	401	211	13	-
27年度	1,786	0	112	379	335	417	345	180	16	2
28年度	1,677	-	117	327	324	353	353	184	19	-
29年度	1,556	-	91	317	321	346	319	148	14	-

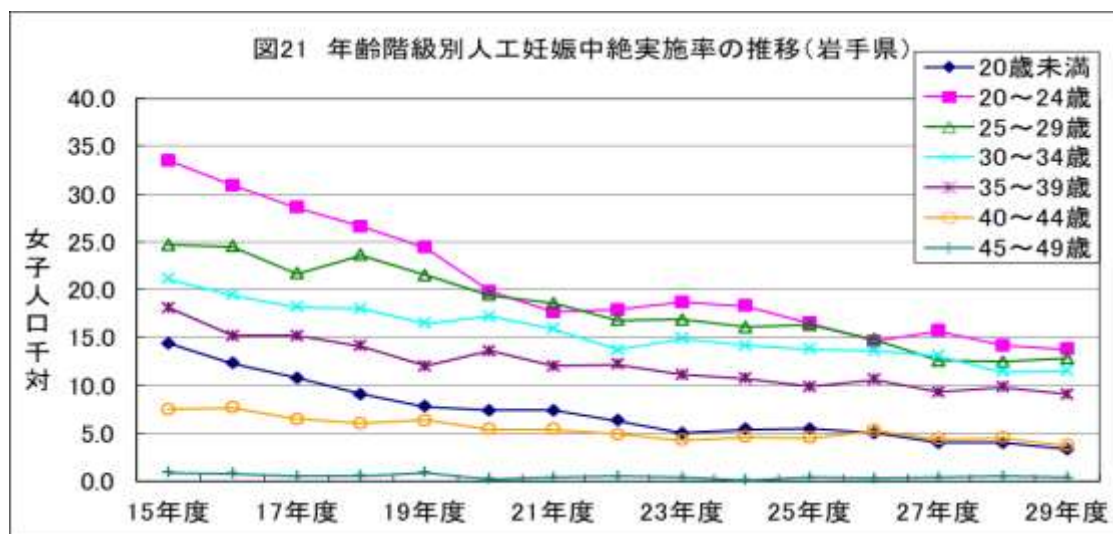
資料:「衛生行政報告例(年度 H15～17年度)」、保健福祉企画室調べ(H18年度以降)

女子人口千人に対する人工妊娠中絶実施率については、本県も全国と同様に毎年減少傾向を示している。

平成29年度は、全国と本県の人工妊娠中絶実施率を比較すると、全国の6.4に対し本県は7.0で全国を上回っている。一方、20歳未満の実施率を比較すると、全国の4.8に対し本県は3.3で全国を下回っている。



年齢階級別人工妊娠中絶実施率では、特に20歳未満において減少傾向となっている。また、人工妊娠中絶実施率が最も高い階層は、20～24歳であるが減少傾向にある。



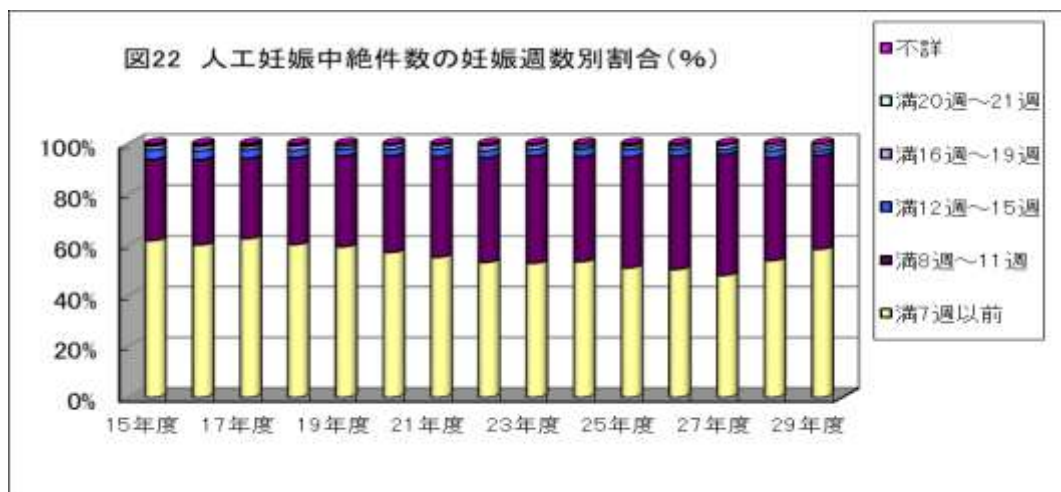
平成29年度の人工妊娠中絶の時期を妊娠週数別にみると、「妊娠満7週未満」が58.5%、「妊娠満8週から11週」が37.0%となっている。

表14 人工妊娠中絶件数の妊娠週数別の年次推移

(人)

年次	岩手県 総数	妊娠週数											
		満7週以前		満8週～満11週		満12週～満15週		満16週～満19週		満20週～満21週		不詳	
		実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%	実数	割合%
平成15年度	4,669	2,890	61.9	1,493	32.0	166	3.6	77	1.6	33	0.7	10	0.2
16年度	4,245	2,555	60.2	1,425	33.6	148	3.5	73	1.7	30	0.7	14	0.3
17年度	3,796	2,378	62.6	1,203	31.7	119	3.1	57	1.5	20	0.5	19	0.5
18年度	3,642	2,199	60.4	1,248	34.3	102	2.8	64	1.8	26	0.7	3	0.1
19年度	3,272	1,946	59.5	1,174	35.9	81	2.5	41	1.3	30	0.9	0	0.0
20年度	3,023	1,730	57.2	1,152	38.1	77	2.5	48	1.6	16	0.5	0	0.0
21年度	2,775	1,536	55.3	1,099	39.6	81	2.9	45	1.6	14	0.5	0	0.0
22年度	2,435	1,296	53.2	1,005	41.2	67	2.7	47	1.9	20	0.8	0	0.0
23年度	2,342	1,238	52.8	990	42.2	59	2.5	41	1.7	14	0.5	0	0.0
24年度	2,205	1,182	53.6	913	41.4	63	2.9	24	1.1	22	1.0	1	0.0
25年度	2,092	1,069	51.1	915	43.7	61	2.9	30	1.4	17	0.8	0	0.0
26年度	1,990	1,007	50.6	890	44.7	51	2.6	25	1.3	17	0.9	0	0.0
27年度	1,786	860	48.2	852	47.7	34	1.9	31	1.7	9	0.5	0	0.0
28年度	1,677	906	54.0	679	40.5	47	2.8	27	1.6	18	1.1	0	0.0
29年度	1,556	911	58.5	575	37.0	29	1.9	24	1.5	17	1.1	0	0.0

資料：衛生行政報告例



保健所別の人工妊娠中絶実施率をみると、平成20年度から29年度までの実施率の平均では、中部・奥州保健所管内が9.9と最も高く、次いで釜石保健所管内の9.3の順に高くなっている。

同様に、20歳未満の実施率の平均は、中部保健所管内の5.8、釜石保健所管内の5.5、県央保健所管内の5.4の順で高くなっている。

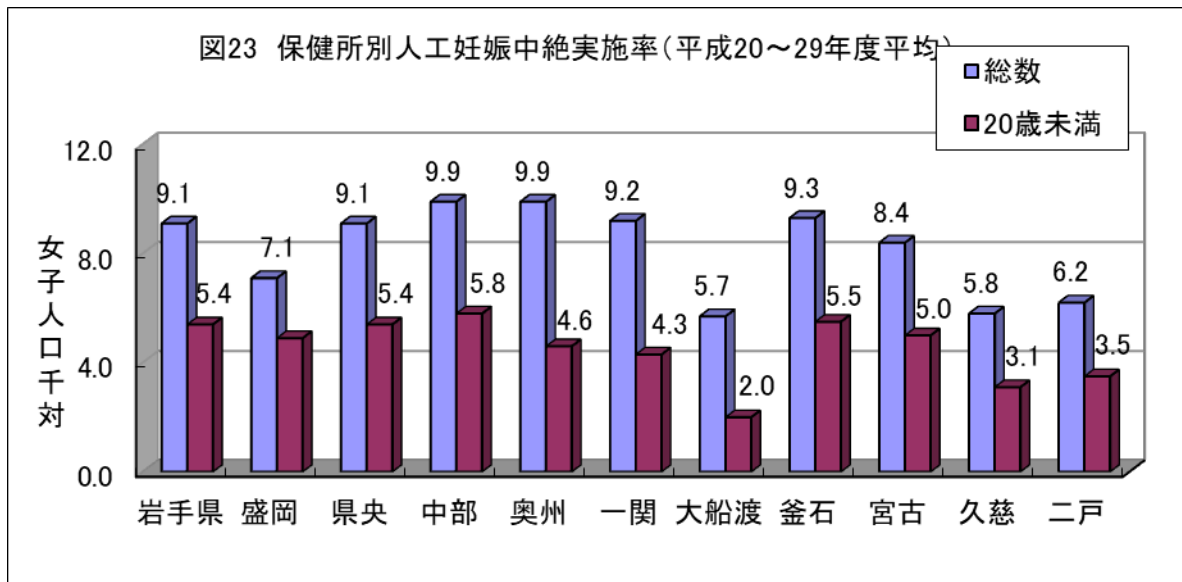
一方で平成20年度から29年度までの実施率の平均が最も低いのは、大船渡保健所管内の5.7で、次いで久慈保健所管内の5.8となっている。同様に、20歳未満の実施率の平均については、大船渡保健所管内の2.0、久慈保健所管内の3.1の順で低率を示している。

表15 保健所別人工妊娠中絶件数及び人工妊娠中絶実施率（女子人口千対）

	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		20-29年平均率
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	
岩手県 総数	3,023	11.7	2,775	11.0	2,436	9.8	2,342	9.6	2,205	9.2	2,092	9.0	1,990	8.6	1,786	8.0	1,677	7.5	1,556	7.1	9.1
20歳未満	238	7.0	229	6.9	199	6.3	160	5.1	166	5.3	165	5.5	150	5.0	112	3.9	117	4.1	91	3.2	5.4
盛岡市 総数	789	11.6	714	10.6	660	9.9	648	9.8	612	9.3	602	9.3	607	9.4	529	8.5	476	7.6	490	8.0	7.1
20歳未満	72	9.2	55	7.2	51	6.3	43	5.5	48	6.5	37	5.3	46	6.6	33	4.6	38	5.3	31	4.4	4.9
県央 総数	450	12.0	394	10.7	344	9.5	310	8.7	346	9.9	304	9.1	257	7.7	274	8.4	257	7.8	234	7.3	9.1
20歳未満	32	6.2	36	7.2	29	5.8	29	5.9	28	6.0	23	5.2	21	4.7	21	4.9	22	5.1	10	2.3	5.4
中部 総数	257	11.7	242	12.4	405	9.8	390	9.3	404	9.8	357	8.9	331	8.2	295	7.5	246	6.2	279	7.2	9.9
20歳未満	20	7.2	22	8.0	31	6.0	25	4.7	25	4.7	34	6.5	27	5.1	20	3.9	23	4.5	14	2.7	5.8
奥州 総数	349	13.5	323	12.7	259	10.5	238	9.8	232	9.8	226	9.8	206	9.0	180	8.0	187	8.3	154	7.0	9.9
20歳未満	22	6.0	22	6.1	22	6.7	14	4.2	11	3.4	16	5.1	13	4.2	9	3.0	11	3.7	9	2.9	4.6
一関 総数	268	11.1	244	10.4	237	10.4	234	10.5	172	7.9	187	9.0	197	9.5	169	8.4	160	7.9	127	6.5	9.2
20歳未満	16	4.8	18	5.5	17	5.7	14	4.6	14	4.7	10	3.4	16	5.5	12	4.3	3	1.1	7	2.5	4.3
大船渡 総数	78	6.5	82	7.0	76	6.6	63	6.0	39	3.8	53	5.3	61	6.1	46	4.9	57	6.1	33	3.7	5.7
20歳未満	4	2.3	4	2.4	7	4.9	4	2.7	1	0.7	5	3.5	1	0.7	0	0.0	1	0.8	2	1.6	2.0
釜石 総数	110	12.2	101	11.5	91	10.6	85	10.9	69	9.2	65	9.0	58	8.0	48	6.8	55	7.7	41	5.9	9.3
20歳未満	13	10.4	8	6.7	7	7.0	6	5.7	4	3.7	7	6.6	5	4.7	4	4.2	1	1.0	2	2.0	5.5
宮古 総数	164	10.5	164	11.1	139	9.4	125	8.8	96	6.9	104	7.9	101	7.6	88	6.9	100	7.8	77	6.2	8.4
20歳未満	11	5.2	15	7.3	10	5.3	7	3.7	14	7.2	8	4.1	7	3.6	4	2.4	11	6.5	8	4.8	5.0
久慈 総数	83	7.0	94	8.2	63	5.6	74	6.8	71	6.6	62	6.1	45	4.4	55	5.7	34	3.5	34	3.6	5.8
20歳未満	7	3.8	11	6.2	7	4.7	8	5.2	4	2.5	2	1.3	5	3.3	2	1.5	1	0.8	0	0.0	3.1
二戸 総数	93	10.1	79	8.0	64	6.5	69	7.2	63	6.8	53	6.0	45	5.1	36	4.3	33	4.0	20	2.5	6.2
20歳未満	6	4.0	8	5.5	4	3.1	4	3.1	7	5.4	10	8.1	2	1.6	1	0.9	2	1.8	0	0.0	3.5

資料：保健福祉企画室調べ（H18年度以降）、保健所別実施率は環境保健総合情報システム（岩手県環境保健研究センター）

平成20年から29年の平均率については、過去10年間の人工妊娠中絶件数実数及び15～49歳の女子人口の合計をもって算出



7 本県の母子保健統計からみる課題（岩手県の母子保健の水準）

（1）妊婦死亡について

全国と同様に昭和 60 年代まで減少傾向を示し推移してきた。平成 22 年～24 年、26 年、28 年において、各 1 人の死亡が発生した。

妊産婦死亡は、妊産婦におかれている保健管理レベルを表す指標でもあり、妊産婦死亡ゼロが継続されるよう、妊婦の保健指導の徹底、就労女性に対する労働衛生を含めた健康管理体制、安全な分娩の確保のための体制づくりが必要である。

（2）乳児死亡について

周産期医療の高度化等により早期新生児を含めた新生児死亡については減少傾向にあるが、育児環境等との関連がある「乳幼児突然死症候群」や「不慮の事故」による死亡については、ほぼ毎年発生している状況にある。これらは育児環境等の整備により予防が可能な事例が含まれると考えられることから、子育て支援に関する情報提供等の取組を推進していく必要がある。

（3）周産期死亡について

本県の周産期死亡率は、減少傾向にあり、平成 29 年は 2.8 であった。今後も妊娠中の母体管理の大切さについての普及啓発や安全な状態で出産できる周産期医療体制の充実強化が必要である。

（4）死産について

本県の死産率は減少傾向にあるが、全国水準より高く推移している状況にある。子どもを安心して生み育てることができるよう、妊娠中の母体管理を支援するための環境づくりとともに、妊娠中の母体の管理だけでなく、母体となる前からの健康の管理や命の大切さに対する意識啓発等が必要である。

（5）低出生体重児の出生割合の増加

出生率が低下している中で、低出生体重児の出生割合は年々増加傾向にあり、平成 29 年は 9.7% であった。低出生体重児は新生児死亡に至りやすい等のハイリスクであることから、妊娠中の母体管理をはじめとした低出生体重児の出生予防対策が必要である。

また、低出生体重児の出生となる場合においても、安全な状態で出生できるよう周産期医療体制の充実強化が必要である。

低出生体重児の出生後の支援として、児の健やか成長が促されるよう育児に関する情報提供や育児不安など精神的支援についてきめ細やかな養育支援が必要である。

（6）人工妊娠中絶について

本県の人工妊娠中絶数及び中絶実施率は、平成 13 年以降は減少しているが、依然として全国値を上回っている。一方、20 歳未満の人工妊娠中絶実施率については、平成 13 年まで全国との格差を広げ増加傾向で推移してきたが、それ以降は減少に転じており、近年は全国よりも低く推移している。思春期保健対策の中で、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響や性感染症など性に関する正しい知識の普及と避妊方法の指導等の対策を推進していく必要がある。

また、乳幼児とのふれあい体験などにより、生まれてくる生命の大切さへの理解を深め、人工妊娠中絶に対する意識の変容や子育てのよいイメージを培う機会を積み重ねていくことが必要である。

（7）多胎の出生について

多胎児の出生は、養育の負担を伴うとともに低出生体重児であることが多く、低出生体重児の養育支援と同様にきめ細やかな養育支援が必要である。

<参考>

母子保健の主なる統計

表1-1 母子保健の主なる統計(その1)

年次	出生				乳児死亡				新生児死亡				死産			
	数(人)		率(人口千対)		数(人)		率(出生千対)		数(人)		率(出生千対)		数(人)		率(出産千対)	
	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県	全国
昭和50年	22,182	1,901,440	16.0	17.1	292	19,103	13.2	10.0	199	12,912	9.0	6.8	1,308	101,862	55.7	50.8
55年	19,638	1,576,889	13.8	13.6	178	11,841	9.1	7.5	127	7,796	6.5	4.9	1,101	77,446	53.1	46.8
60年	17,232	1,431,577	11.8	11.9	87	7,899	5.0	5.5	50	4,910	2.9	3.4	918	69,009	50.6	46.0
平成2年	14,254	1,221,585	10.1	10.0	52	5,616	3.6	4.6	30	3,179	2.1	2.6	694	53,894	46.4	42.3
7年	13,021	1,187,064	9.2	9.6	46	5,054	3.5	4.3	21	2,615	1.6	2.2	513	39,403	37.9	32.1
8年	12,845	1,206,555	9.0	9.7	40	4,546	3.1	3.8	11	2,438	0.9	2.0	504	39,536	37.8	31.7
9年	12,423	1,191,665	8.8	9.5	39	4,403	3.1	3.7	16	2,307	1.3	1.9	557	39,546	42.9	32.1
10年	12,778	1,203,147	9.0	9.6	40	4,380	3.1	3.6	21	2,353	1.6	2.0	456	38,988	34.5	31.4
11年	12,420	1,177,669	8.8	9.4	41	4,010	3.3	3.4	19	2,137	1.5	1.8	477	38,452	37.0	31.6
12年	12,410	1,190,547	8.8	9.5	29	3,830	2.3	3.2	19	2,106	1.5	1.8	480	38,393	37.2	31.2
13年	12,272	1,170,662	8.7	9.3	30	3,599	2.4	3.1	16	1,909	1.3	1.6	475	37,467	37.3	31.0
14年	11,862	1,153,855	8.5	9.2	46	3,497	3.9	3.0	19	1,937	1.6	1.7	497	36,978	40.2	31.1
15年	11,376	1,123,610	8.1	8.9	33	3,364	2.9	3.0	7	1,879	0.8	1.7	430	35,330	36.4	30.5
16年	11,167	1,110,721	8.0	8.8	29	3,122	2.6	2.8	12	1,622	1.1	1.5	441	34,365	38.0	30.0
17年	10,545	1,062,530	7.6	8.4	34	2,958	3.2	2.8	17	1,510	1.6	1.4	361	31,818	33.1	29.1
18年	10,556	1,092,674	7.7	8.7	26	2,864	2.5	2.6	19	1,444	1.8	1.3	338	30,911	31.0	27.5
19年	10,344	1,089,818	7.6	8.6	23	2,828	2.2	2.6	12	1,434	1.2	1.3	332	29,313	31.1	26.2
20年	10,223	1,091,156	7.6	8.7	36	2,798	3.5	2.6	15	1,331	1.5	1.2	279	28,177	26.6	25.2
21年	9,904	1,070,035	7.4	8.5	35	2,556	3.5	2.4	19	1,254	1.9	1.2	265	27,005	26.1	24.6
22年	9,745	1,071,304	7.4	8.5	26	2,450	2.7	2.3	16	1,167	1.6	1.1	291	26,560	29.0	24.2
23年	9,310	1,050,806	7.1	8.3	43	2,463	4.6	2.3	5	1,147	0.5	1.1	256	25,751	26.8	23.9
24年	9,276	1,037,231	7.1	8.2	27	2,299	2.9	2.2	14	1,065	1.5	1.0	263	24,800	27.6	23.4
25年	9,231	1,029,816	7.2	8.2	12	2,185	1.3	2.1	4	1,026	0.4	1.0	256	24,102	27.0	22.9
26年	8,803	1,003,539	6.9	8.0	17	2,080	1.9	2.1	6	952	0.7	0.9	213	23,524	23.6	22.9
27年	8,814	1,005,677	6.9	8.0	27	1,916	3.1	1.9	8	902	0.9	0.9	216	22,617	23.9	22.0
28年	8,341	976,978	6.6	7.8	17	1,928	2.0	2.0	7	874	0.8	0.9	184	20,934	21.6	21.0
29年	8,175	946,065	6.5	7.6	22	1,761	2.7	1.9	10	832	1.2	0.9	162	20,358	19.4	21.1

資料：人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部)

表1-2 母子保健の主なる統計（その2）

年次	周産期死亡 <small>注1)</small>												妊産婦死亡				合計特殊出生率	
	数（人）						率（出産千対）						数（人）		率（出産10万対）		岩手県	全国
	岩手県	後期死産	早期新生児死亡	全国	後期死産	早期新生児死亡	岩手県	後期死産	早期新生児死亡	全国	後期死産	早期新生児死亡	岩手県	全国	岩手県	全国		
昭和50年	387	229	158	30,513	20,268	10,245	17.5	10.3	7.1	16.0	10.7	5.4	10	546	42.6	27.3	2.14	1.91
55年	437	337	100	32,422	26,268	6,154	21.9	16.9	5.1	20.2	16.4	3.9	6	323	28.9	19.5	1.95	1.75
60年	254	219	35	22,379	18,642	3,737	14.6	12.5	2.0	15.4	12.9	2.6	4	226	22.0	15.1	1.88	1.76
平成2年	169	62	19	13,704	11,367	2,337	11.7	10.4	1.3	11.1	9.2	1.9	1	105	6.7	8.2	1.72	1.54
7年	104	92	12	8,412	6,580	1,832	7.9	7.0	0.9	7.0	5.5	1.5	2	85	14.8	6.9	1.62	1.42
8年	66	59	7	8,080	6,333	1,747	5.1	4.6	0.5	6.7	5.2	1.4	0	72	0.0	5.8	1.58	1.43
9年	77	68	9	7,624	6,009	1,615	6.2	5.4	0.7	6.4	5.0	1.4	0	78	0.0	6.3	1.53	1.39
10年	79	66	13	7,447	5,804	1,643	6.2	5.1	1.0	6.2	4.8	1.4	1	86	7.6	6.9	1.57	1.38
11年	76	63	13	7,102	5,567	1,535	6.1	5.0	1.0	6.0	4.7	1.3	0	72	0.0	5.9	1.52	1.34
12年	75	59	16	6,881	5,362	1,519	6.0	4.7	1.3	5.8	4.5	1.3	2	78	15.5	6.3	1.56	1.36
13年	85	70	15	6,476	5,114	1,362	6.9	5.7	1.2	5.5	4.3	1.2	1	76	7.8	6.3	1.52	1.33
14年	85	68	17	6,333	4,959	1,374	7.1	5.7	1.4	5.5	4.3	1.2	1	84	8.1	7.1	1.50	1.32
15年	59	54	5	5,929	4,626	1,303	5.2	4.7	0.4	5.3	4.1	1.2	0	69	0.0	6.0	1.45	1.29
16年	69	60	9	5,541	4,357	1,184	6.1	5.3	0.8	5.0	3.9	1.1	0	49	0.0	4.3	1.43	1.29
17年	69	55	14	5,149	4,058	1,091	6.5	5.2	1.3	4.8	3.8	1.0	0	62	0.0	5.7	1.41	1.26
18年	53	38	15	5,100	4,047	1,053	5.0	3.6	1.4	4.7	3.7	1.0	1	54	9.2	4.8	1.39	1.32
19年	53	46	7	4,906	3,854	1,052	5.1	4.4	0.7	4.5	3.5	1.0	0	35	0.0	3.1	1.39	1.34
20年	55	43	12	4,720	3,751	969	5.4	4.2	1.2	4.3	3.4	0.9	0	39	0.0	3.5	1.39	1.37
21年	54	38	16	4,519	3,645	874	5.4	3.8	1.6	4.2	3.4	0.8	0	53	0.0	4.8	1.37	1.37
22年	59	53	6	4,515	3,637	878	6.0	5.4	0.6	4.2	3.4	0.8	1	45	10.0	4.1	1.46	1.39
23年	46	45	1	4,315	3,491	824	4.9	4.8	0.1	4.1	3.3	0.8	1	41	10.5	3.8	1.41	1.39
24年	56	46	10	4,133	3,343	790	6.0	4.9	1.1	4.0	3.2	0.8	1	42	10.5	4.0	1.44	1.41
25年	36	33	3	3,862	3,110	752	3.9	3.6	0.3	3.7	3.0	0.7	0	36	0.0	3.4	1.46	1.43
26年	46	41	5	3,750	3,039	711	5.2	4.6	0.6	3.7	3.0	0.7	1	28	11.1	2.7	1.44	1.42
27年	30	26	4	3,728	3,063	665	3.4	2.9	0.5	3.7	3.0	0.7	0	39	0.0	3.8	1.49	1.45
28年	32	28	4	3,516	2,840	676	3.8	3.3	0.5	3.6	2.9	0.7	1	34	11.7	3.4	1.45	1.44
29年	23	16	7	3,308	2,683	625	2.8	2.0	0.9	3.5	2.8	0.7	0	33	0.0	3.4	1.47	1.43

注1) 周産期死亡の後期死産は、昭和50年までは「満28週以後の死産」、昭和55年からは「満22週以後の死産」

周産期死亡率は出産千対（出生数+妊娠22週以後の死産数）で算出

早期新生児死亡率は出生千対で算出

表2-1 平成29年主要なる統計（保健所、市町村別）

	人口 (平成29年 10月1日)	出生数 -総数	死亡数 -総数	自然増加 数 -総数	乳児死 亡数 -総数	新生児 死亡数 -総数	死産数 -総数	死産数 -自然 (不詳含 む)	死産数 -人工	周産期 死亡数 -総数	周産期 死亡数 -後期死 産	周産期 死亡数 -早期新 生児死 亡
岩手県	1,254,807	8,175	17,232	-9,057	22	10	162	66	96	23	16	7
盛岡市保健所	295,630	2,245	3,050	-805	3	1	46	21	25	6	5	1
盛岡市	295,630	2,245	3,050	-805	3	1	46	21	25	6	5	1
県央保健所	176,759	1,163	2,172	-1,009	3	3	25	7	18	3	0	3
八幡平市	25,411	127	454	-327	0	0	4	1	3	0	0	0
滝沢市	55,477	429	462	-33	2	2	8	5	3	2	0	2
雫石町	16,527	92	253	-161	0	0	1	0	1	0	0	0
葛巻町	6,012	23	138	-115	1	1	4	1	3	1	0	1
岩手町	13,187	57	244	-187	0	0	2	0	2	0	0	0
紫波町	32,234	209	373	-164	0	0	4	0	4	0	0	0
矢巾町	27,911	226	248	-22	0	0	2	0	2	0	0	0
中部保健所	221,263	1,482	3,130	-1,648	4	1	25	13	12	5	4	1
花巻市	95,808	604	1,458	-854	2	1	9	7	2	3	2	1
北上市	92,715	721	1,054	-333	1	0	13	5	8	1	1	0
遠野市	27,161	136	505	-369	1	0	3	1	2	1	1	0
西和賀町	5,579	21	113	-92	0	0	0	0	0	0	0	0
奥州保健所	132,631	892	1,846	-954	4	3	17	5	12	2	1	1
奥州市	117,014	778	1,620	-842	2	2	17	5	12	2	1	1
金ヶ崎町	15,617	114	226	-112	2	1	0	0	0	0	0	0
一関保健所	125,987	691	2,077	-1,386	0	0	17	5	12	0	0	0
一関市	118,319	644	1,959	-1,315	0	0	17	5	12	0	0	0
平泉町	7,668	47	118	-71	0	0	0	0	0	0	0	0
大船渡保健所	61,531	340	987	-647	3	0	9	3	6	1	1	0
大船渡市	36,906	212	579	-367	2	0	3	2	1	0	0	0
陸前高田市	19,144	105	295	-190	1	0	4	1	3	1	1	0
住田町	5,481	23	113	-90	0	0	2	0	2	0	0	0
釜石保健所	47,174	283	808	-525	1	0	4	2	2	1	1	0
釜石市	35,721	211	594	-383	1	0	4	2	2	1	1	0
大槌町	11,453	72	214	-142	0	0	0	0	0	0	0	0
宮古保健所	82,977	476	1,322	-846	4	2	11	8	3	4	3	1
宮古市	54,847	316	843	-527	3	2	7	6	1	2	1	1
山田町	15,350	97	231	-134	0	0	2	1	1	1	1	0
岩泉町	9,402	42	175	-133	0	0	2	1	1	1	1	0
田野畑村	3,378	21	73	-52	1	0	0	0	0	0	0	0
久慈保健所	57,258	334	895	-561	0	0	1	0	1	0	0	0
久慈市	34,544	223	482	-259	0	0	0	0	0	0	0	0
普代村	2,716	17	54	-37	0	0	0	0	0	0	0	0
野田村	4,009	23	64	-41	0	0	0	0	0	0	0	0
洋野町	15,989	71	295	-224	0	0	1	0	1	0	0	0
二戸保健所	53,597	269	945	-676	0	0	7	2	5	1	1	0
二戸市	26,652	142	455	-313	0	0	5	2	3	1	1	0
軽米町	8,950	46	164	-118	0	0	1	0	1	0	0	0
九戸村	5,659	26	104	-78	0	0	0	0	0	0	0	0
一戸町	12,336	55	222	-167	0	0	1	0	1	0	0	0

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

表2-2 平成29年主要なる統計（保健所、市町村別）

	出生率 (人口 千対)	死亡率 (人口千 対)	自然増 加率 (人口 千対)	乳児死 亡率 (出生 千対)	新生児 死亡率 -総数	死産率 -総数 (出産 千対)	死産率 -自然 (出産 千対)	死産率 -人工 (出産 千対)	周産期 死亡率 -総数 (出産 千対)	周産期死亡率 -後期死産 (出産千対)	周産期死亡 率 -早期新生 児死亡(出 生千対)	合計特殊出 生率
岩手県	6.5	13.7	-7.2	2.7	1.2	19.4	7.9	11.5	2.8	2.0	0.9	1.54
盛岡市保健所	7.6	10.3	-2.7	1.3	0.4	20.1	9.2	10.9	2.7	2.2	0.4	1.43
盛岡市	7.6	10.3	-2.7	1.3	0.4	20.1	9.2	10.9	2.7	2.2	0.4	1.43
県央保健所	6.6	12.3	-5.7	2.6	2.6	21.0	5.9	15.2	2.6	-	2.6	1.47
八幡平市	5.0	17.9	-12.9	-	-	30.5	7.6	22.9	-	-	-	1.51
滝沢市	7.7	8.3	-0.6	4.7	4.7	18.3	11.4	6.9	4.7	-	4.7	1.50
雫石町	5.6	15.3	-9.7	-	-	10.8	-	10.8	-	-	-	1.50
葛巻町	3.8	23.0	-19.1	43.5	43.5	148.1	37.0	111.1	43.5	-	43.5	2.07
岩手町	4.3	18.5	-14.2	-	-	33.9	-	33.9	-	-	-	1.56
紫波町	6.5	11.6	-5.1	-	-	18.8	-	18.8	-	-	-	1.51
矢巾町	8.1	8.9	-0.8	-	-	8.8	-	8.8	-	-	-	1.28
中部保健所	6.7	14.1	-7.4	2.7	0.7	16.6	8.6	8.0	3.4	2.7	0.7	1.61
花巻市	6.3	15.2	-8.9	3.3	1.7	14.7	11.4	3.3	5.0	3.3	1.7	1.55
北上市	7.8	11.4	-3.6	1.4	-	17.7	6.8	10.9	1.4	1.4	-	1.64
遠野市	5.0	18.6	-13.6	7.4	-	21.6	7.2	14.4	7.3	7.3	-	1.71
西和賀町	3.8	20.3	-16.5	-	-	-	-	-	-	-	-	2.34
奥州保健所	6.7	13.9	-7.2	4.5	3.4	18.7	5.5	13.2	2.2	1.1	1.1	1.70
奥州市	6.6	13.8	-7.2	2.6	2.6	21.4	6.3	15.1	2.6	1.3	1.3	1.68
金ヶ崎町	7.3	14.5	-7.2	17.5	8.8	-	-	-	-	-	-	1.88
一関保健所	5.5	16.5	-11.0	-	-	24.0	7.1	16.9	-	-	-	1.61
一関市	5.4	16.6	-11.1	-	-	25.7	7.6	18.2	-	-	-	1.60
平泉町	6.1	15.4	-9.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.82
大船渡保健所	5.5	16.0	-10.5	8.8	-	25.8	8.6	17.2	2.9	2.9	-	1.73
大船渡市	5.7	15.7	-9.9	9.4	-	14.0	9.3	4.7	-	-	-	1.79
陸前高田市	5.5	15.4	-9.9	9.5	-	36.7	9.2	27.5	9.4	9.4	-	1.78
住田町	4.2	20.6	-16.4	-	-	80.0	-	80.0	-	-	-	1.34
釜石保健所	6.0	17.1	-11.1	3.5	-	13.9	7.0	7.0	3.5	3.5	-	1.72
釜石市	5.9	16.6	-10.7	4.7	-	18.6	9.3	9.3	4.7	4.7	-	1.66
大槌町	6.3	18.7	-12.4	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
宮古保健所	5.7	15.9	-10.2	8.4	4.2	22.6	16.4	6.2	8.4	6.3	2.1	1.77
宮古市	5.8	15.4	-9.6	9.5	6.3	21.7	18.6	3.1	6.3	3.2	3.2	1.74
山田町	6.3	15.0	-8.7	-	-	20.2	10.1	10.1	10.2	10.2	-	1.69
岩泉町	4.5	18.6	-14.1	-	-	45.5	22.7	22.7	23.3	23.3	-	1.91
田野畑村	6.2	21.6	-15.4	47.6	-	-	-	-	-	-	-	2.38
久慈保健所	5.8	15.6	-9.8	-	-	3.0	-	3.0	-	-	-	1.72
久慈市	6.5	14.0	-7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.74
普代村	6.3	19.9	-13.6	-	-	-	-	-	-	-	-	1.95
野田村	5.7	16.0	-10.2	-	-	-	-	-	-	-	-	2.04
洋野町	4.4	18.5	-14.0	-	-	13.9	-	13.9	-	-	-	1.65
二戸保健所	5.0	17.6	-12.6	-	-	25.4	7.2	18.1	3.7	3.7	-	1.60
二戸市	5.3	17.1	-11.7	-	-	34.0	13.6	20.4	7.0	7.0	-	1.59
軽米町	5.1	18.3	-13.2	-	-	21.3	-	21.3	-	-	-	1.53
九戸村	4.6	18.4	-13.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.53
一戸町	4.5	18.0	-13.5	-	-	17.9	-	17.9	-	-	-	1.44

表3-1 過去3か年の男女別人口（0～14歳）
平成27年

（平成27年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総数	152,356	77,871	74,485
歳			
0～4	46,073	23,516	22,557
0	8,904	4,505	4,399
1	8,948	4,597	4,351
2	9,281	4,758	4,523
3	9,299	4,786	4,513
4	9,641	4,870	4,771
5～9	50,073	25,730	24,343
5	9,716	4,872	4,844
6	9,827	5,155	4,672
7	10,083	5,225	4,858
8	10,276	5,317	4,959
9	10,171	5,161	5,010
10～14	56,210	28,625	27,585
10	10,493	5,315	5,178
11	10,867	5,563	5,304
12	11,133	5,750	5,383
13	11,749	5,888	5,861
14	11,968	6,109	5,859

平成28年

（平成28年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総数	147,370	75,400	71,970
歳			
0～4	43,637	22,409	21,228
0	8,503	4,367	4,136
1	8,394	4,270	4,124
2	8,597	4,422	4,175
3	9,027	4,626	4,401
4	9,116	4,724	4,392
5～9	49,297	25,281	24,016
5	9,413	4,747	4,666
6	9,683	4,865	4,818
7	9,889	5,184	4,705
8	10,041	5,178	4,863
9	10,271	5,307	4,964
10～14	54,436	27,710	26,726
10	10,107	5,083	5,024
11	10,491	5,327	5,164
12	10,878	5,586	5,292
13	11,167	5,751	5,416
14	11,793	5,963	5,830

平成29年

（平成29年10月1日現在）

年齢別	総数	男	女
総数	143,835	73,653	70,182
歳			
0～4	42,763	21,882	20,881
0	8,222	4,192	4,030
1	8,505	4,362	4,143
2	8,410	4,278	4,132
3	8,621	4,436	4,185
4	9,005	4,614	4,391
5～9	48,199	24,723	23,476
5	9,139	4,744	4,395
6	9,431	4,744	4,687
7	9,686	4,865	4,821
8	9,896	5,197	4,699
9	10,047	5,173	4,874
10～14	52,873	27,048	25,825
10	10,290	5,317	4,973
11	10,115	5,096	5,019
12	10,470	5,318	5,152
13	10,841	5,565	5,276
14	11,157	5,752	5,405

資料：岩手県人口移動報告年報（政策地域部）

表 3 - 2
死亡数 (0~14歳) 保健所・市町村別

保健医療圏 保健所 市町村	総数		0		1		2		3		4		0-4 (再掲)		5-9		10-14	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成27年	48	31	14	13	1	1	4	-	-	-	1	-	20	14	7	-	1	3
平成28年	24	36	7	10	2	3	-	1	1	1	-	2	10	17	1	1	3	1
平成29年	16	18	10	12	1	1	1	2	-	1	-	-	12	16	-	1	4	1
盛岡保健医療圏	4	6	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	3	1
盛岡市保健所			-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1
盛岡市			-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1
県央保健所			1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	-
八幡平市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滝沢市	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
雫石町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
葛巻町	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紫波町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
矢巾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
岩手中部保健医療圏	2	2	2	2	-	-	-	2	-	1	-	-	2	5	-	-	-	-
中部保健所	2	2	2	2	-	-	-	2	-	1	-	-	2	5	-	-	-	-
花巻市	6	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
北上市			-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
遠野市			-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
西和賀町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胆江保健医療圏	2	2	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-
奥州保健所	2	2	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-
奥州市	1	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
金ヶ崎町	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
両磐保健医療圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
一関保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
一関市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
平泉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気仙保健医療圏			1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大船渡保健所			1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大船渡市	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
陸前高田市			-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
住田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釜石保健医療圏	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
釜石保健所	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
釜石市	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
大槌町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮古保健医療圏	7	5	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-
宮古保健所	7	5	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-
宮古市	4	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
山田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩泉町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田野畑村	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
久慈保健医療圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久慈保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
久慈市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
普代村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野田村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洋野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二戸保健医療圏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二戸保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
軽米町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
九戸村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一戸町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）

死亡数 (0~14歳)、選択死因分類別

年齢・性	悪性 新生物	白血病	心疾患 (高血 圧性を 除く)	不整脈 及び伝 導障害	脳血管 疾患	くも膜 下出血	脳内 出血	肺炎	不慮の 事故
平成29年	3	1	2	1	2	1	1	0	1
男	2	0	0	0	1	1	0	0	0
女	1	1	2	1	1	0	1	0	1
0-4	0	0	2	1	0	0	0	0	1
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	2	1	0	0	0	0	1
5-9	1	1	0	0	0	0	0	0	0
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	1	1	0	0	0	0	0	0	0
10-14	2	0	0	0	2	1	1	0	0
男	2	0	0	0	1	1	0	0	0
女	0	0	0	0	1	0	1	0	0

資料：保健福祉年報（岩手県保健福祉部）